

鹿島灘沿岸地方における2国有林の 植物調査報告

MASARU KAWADA Ag. D. and Yasaka HAYASHI: The Name-List of Plants growing in two National Forests situated near the Shore Line of Sea, a Part of Western Pacific Ocean so-called "Kashimanada", and some Notes on the Plants listed from Viewpoints of Ecology.

河 田 杰¹⁾
林 彌 榮²⁾

目 次

緒 文	9
1 植生の概況	10
2 「ラウンキエール」氏の生活形「スペクトラム」	14
3 当該地方の気候の特徴と植物の種類	19
4 村松, 目兼両国有林の植物	21
(1) 植物分類地理学上興味ある植物の概説	21
(2) 植物目録	28
5 Résumé	69

緒 文

鹿島灘沿岸すなわち茨城, 福島両県の太平洋沿岸地方には相当多くの国有林団地が散在している。そのうちで著者(河田)が関係していて, しかも相当人に知られている林業試験地がふたつある。そのひとつは茨城県那珂郡村松村の海岸砂防林造成に関するものであり, 他のひとつは福島県石城郡川部村にあるスギ林の間伐に関するものである。前者を村松国有林といい, 後者を目兼国有林と呼んでいる。

このふたつの国有林に対し, 林業試験地を包含する団地という意味において, 著者(河田)は, かねてからそのなかに自生する植物の調査をしておくことを念願としていたのであるが, 著者の植物分類学に対する貧弱なる頭を以てしては到底なし遂げざるところであつた。たまたま昭和 21 年(1946)畏友林彌榮氏を林業試験場に迎うるにあたり, 氏に囑してこの目的を達し得たのである。そこで本報告の冒頭において, 本報告の構成を説明しておきたいと思う。

目次のうち, 緒文, 1, 2, 3 は著者のうち主として河田が分担し, 4 は林が分担するとこ

1) 農学博士 東京教育大学講師 2) 造林部育種科植生研究室長

ろである。しかして著者(河田)は一応自身の分担に対して報告を綴つたが、その内容は極めて大まかなものであつて、むしろ4の植物目録の前文的の記載であることを大方においてあらかじめ了知しておいていただきたいのである。

本調査は主として、昭和23年(1948)の5月および同年の10月2回にわたり行われたものであるが、そのまえ昭和22年(1947)5月にその準備的の調査が行われている。

本調査を施行するにあたり、直接間接支援を賜つた各方としては、理学博士高橋基生、前橋営林局農林技官小暮保、水戸営林署長農林技官佐々木梧郎、水戸営林署員農林事務官志津幸祐、同署員佐野武、同安嶋政雄、植田町営林署長農林技官川田一郎、同署員農林事務官依田佳一、同今村達視、林業試験場在勤農林技官坂口勝美、同山路木曾男、同佐々木繁の諸氏である。特記して深謝の意を表する。

なお採集せる植物名の確定については、国立科学博物館、東京大学、東京教育大学等各方面の権威ある人々の指導にまつものが極めて多い。これら各方面の芳名は、特に4.村松、目兼両国有林の植物の冒頭に掲げ、著者(林)より御厚礼を申上げた次第である。同時に著者(河田)のともに感激に堪えざるところである。

1 植生の概況(河田担当)

A 国有林の位置、面積

村松国有林これは、茨城県那珂郡村松村大字宿通り外4大字にまたがる一帯の国有林、面積140.86ヘクタールとその外側に横たわる砂丘地面積174.28ヘクタール、合計315.14ヘクタールである。この国有林は全部水戸営林署、水戸経営区に属するものである。

目兼国有林、これは福島県石城郡川部村大字山玉字目兼国有林、面積439ヘクタールであつて植田町営林署鮫川経営区に属している。

以上2国有林の地図上の位置はFig. 1に示してある。

B 植生としての2国有林の關係的位置

著者は最近において、日本の森林植生大群(Forest Formation-Group)のRegion(地域)別の概念図を2枚作製し、これを発表している。

その1は日本書院発行の雑誌「地域」の昭和27年(1952)3月号、および4月号に「我国の天然林」なる題下に寄稿したもののなかに出ている。しかしこの図はその後になつてところどころ訂正すべきものあるに気づき、さらに改善してこれを平凡社発行の日本理科事典の「森林」欄の1部に発表してある。これがその2である。

今回本報告の2国有林の位置を指示するにあたり、以上掲げたふたつの図のうちその2の図面を用いたのであるが、同時にこれをFig. 1として改めて発表したものである。しかしてこの際、上掲理科事典のものをさらに多少改善してあるのである。

いまこの図を發表するに際しきわめて大まかに著者の見解を説明しようと思う。

植物社会 (Plant Community) の種類別の基本単位として、植生単位 (群叢, 群集, Association) を認める。植物社会を仮りにひとつの生物個体と認めるときに, Association が種 (Species) の立場からの単位であることに對し, 植物社会の生活形的分類の単位として植生単位群 (群系, Formation) を認める。しかして、同時にこの Formation なるものは一般環境 (General Habitat) 表現の基準であるとする。さらに環境表現の基準としては、あまりに空間的に大きすぎるものであるが、植生ごとに極盛相 (Climax Community) の形相 (Physiognomy) の共通または類似せるものを一括して植生大群 (Formation-Group) とする。これを模型的に書き表わしてみると、

Formation-Group (類似の環境の表現)

Formation (環境の単位)

Association (植生の単位)

となつて、この構成は大體 Brockman-Jerosch, Rübél 両氏の分類法式に近いものであるが、その内容は著者の創見になるものであつて、かならずしも合致してはいない。なお重複しているが、Formation-Group は何等かの植生単位の集まりであつて、決して単位そのものではないが、Formation と Association とはともに見方を異にしたる植生の単位である。しかも、結果において一致するかもしれぬが、解釈的には Formation は Association より一段大きな植生の単位ではないのである。

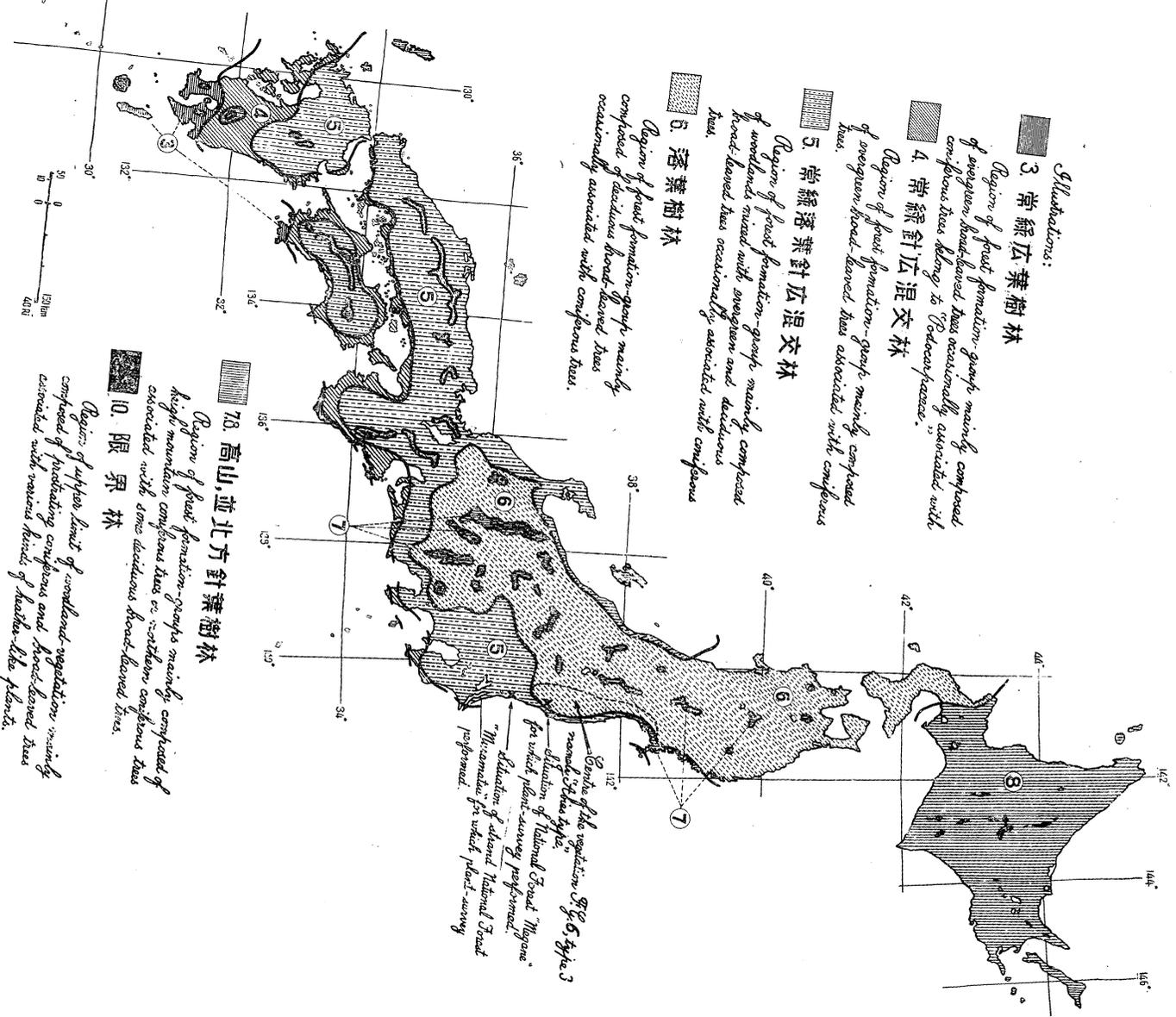
本図 (Fig. 1) は Formation-Group を基準として、その各々の地域 (Region) を概念的に表わしたものである。しかして Region という意味はこの Region のなかに現われる森林植生ありとせば、その Region の示す Formation-Group に属するものであるという意味である。

さて著者は先ず日本の森林植生を大群に分けてつぎの 10 大群とする (ただしこれが分類のよところは他日細かく發表するところがあるが、本報告では単に結論的に図のみを發表しておくことにお許しを願う次第である)。

1. 海洋性熱帯林 2. 硬葉樹林 3. 常緑広葉樹林 4. 常緑, 針広混交林
5. 常緑, 落葉, 針広混交林 6. 落葉樹林 7. 高山針葉樹林 8. 北方針葉樹林
9. 海岸林 10. 限界林

これである、しかしてその現われ方の概念を示すと、それは Fig. 1 のごときものである。

さて、著者は 6. 落葉樹林のなかに諸種の型 (Type) が現われていることを認める。しかしてその型は、さだめし数多いことと思われるけれども、その全部が著者の目に触れているとは思われない。そこで、明らかに著者の目は映じている型を掲げると次のようである。



Map of Forest Vegetation conceptionally illustrated by the Regions of Formation-Group in Japan.

Fig. 1 日本森林植生大群分布概念図
 (Originated by Masauo Kawada, 1921.)

Type (I) 広葉樹林標準型 Type (II) ヒノキ, サワラ型 Type (III) モミ型
 Type (IV) スギ型 Type (V) ヒバ型 Type (VI) トドマツ型

これである。

つぎに著者は 7. 高山針葉樹林に対しても, ある程度の型を認める。それはつぎのものである。

Type (I) 西方型 (カラマツを作るもの)

Sub-type Ia ダケモミ, コメツガ, ブナ, ミヅナラ, ダケカンバ型

Sub-type Ib アヲモリトドマツ, シラビソ, コメツガ, タウヒ, ダケカンバ型

Type (II) 北方型 (カラマツを作わざるもの)

アヲモリトドマツ, ミヅナラ, ブナ, ダケカンバ型

(ただし微量のコメツガを作るものあり)

つぎに 9. 海岸林のなかにも, 前記同様種々の型のあることを認めている。しかして今のところこの大群を大體全面的につぎのように類別し得るものと信じている。

Type (I) クロマツ純林型

Sub-type (I) ・A 微量にアカマツを混するもの

Sub-type (I) ・B 全くアカマツを混ぜざるもの

Type (II) アカマツ, クロマツ混交林型

Sub-type (II) ・A 2者点状混交をなすもの

Sub-type (II) ・B 2者群状混交をなすもの

Type (III) アカマツ純林型

Type (IV) 北方クロマツ林 (主として人工林)

Type (V) 広葉落葉樹林型

Sub-type (V) ・A ミヅナラ, カシハ, イタヤカエデ型

Sub-type (V) ・B カラフトガシハ, ナナカマド型

これである。

著者は今のところ, この型 (Type) をもつて, そのまま Formation に充つべきか, どうかについては決定していない。

図 (Fig. 1) のなかで, 1, 2, 9の3大群の Region が示してないが, それはつぎのごとき理由によるものである。

1は本図に包含せらるる範囲内においては, この大群に属すと思われるような島嶼はまずないからである。つぎの2の大群は主として3の大群が海にのぞむ岩石地の上に現われているのであつて, その存在は明らかではあるが, 本図の縮尺の程度では, あまりその面積が小であるため表わしにくいのである。つぎの9の大群についていうと, 日本の海岸林のほとんど全部

はこの大群に含まるべきものであるから、9の大群のRegionはその長さにおいては、だいたい日本の海岸線の長さと一致すべきほどの距離を示すべきものではあるが、その幅はやはりこの程度の縮尺では表わし難いほど狭いものである。

さて、図 (Fig. 1) に示すとおり、村松国有林はその形相、大群9のType (II) のうちのSub-type (II) ・A に属するものであつて、その直後に迫る他の大群は5である。また目兼国有林は図の示すがごとく、大群5と大群6との接触点に近き、海岸よりの内地林であるが、図に示すが如く、これを大観すれば、2者はともに、鹿島灘に近き2団の森林であつて、一方は直接汀線に接する海岸林、他は海岸に近き内地林であつて、しかも2者はたがいに近接せるところにある2団地であるといふことができる。

2 「ラウンキエール」(Raunkiaer) 氏の生活形「スペクトラム」 (Biological Spectrum) (河田担当)

本欄の記事は一応著者の担当としてあるが事實は林氏の援助にまつものが極めて多いのである。

前項に記するがごとく、この村松、目兼の2団地はともに鹿島灘に近き、または接する森林である。そこでその地方の気候を考えてみると、ふたつの重要な項に分けることができる。

その1は2者はともに近接している森林ではあるが、目兼国有林は落葉樹林に属し、村松国有林は海岸林ではあるが常緑、落葉、針落混交林に接しているものである。この2者がたがいに、そのなかに存する環境を異にしているということが植物の種類のうち現われてはいまいかということである。その2は鹿島灘は有名な暖流と、寒流と相遭う海である。この気候上の特徴が、やはり植物区系の上に現われてはいまいかということである。

著者はこれらの事情を検討してみる方法として、かの「ラウンキエール」氏の生活形「スペクトラム」を試用してみたのであるが、やや注目すべき結果を得たのでつぎに記述してみることとする。

まず「スペクトラム」(以下単に「スペクトラム」と書く)の組み立てかたについて、だいたいの方針を説明するとつぎのようである。

植物目録を見て、その種をいちいちR氏(「ラウンキエール」の略、以下同段)の生活形に分けたのであるが、それにはつぎのような特別な措置をとつたのである。その理由はわが国の羊歯類、顕花植物の全部が、R氏の生活形の系統によつて分けられているかということ、必ずしもさうではないからである。しかし著者はもとより各種について、いちいちその1年を通ずる生活様式に精通しているわけでもない。そこで、仕方がないから、はなはだ不確実ではあるが、著者のある程度の想像と主観とをいれて、これを類別にしたのである。その要領はつぎのとおりである。

1. 蔓莖類(Lian)の類はいつたい何にいられてよいか、これについてはR氏は明言してい

ない。この点については、英の「タンズレー」(Tansley) 氏もこれを欠点として指摘している。そこで著者は同じくツル植物といつても、草本の類は草本として取り扱い、これは別物とする(註: 元来 Lian という術語の正しい解釈は木本の莖茎ということである)。木本のものは、その植物が達しうる高さを記憶により標準とし全部 Phanerophyte に編入してある。

2. Chamaephyte, Hemicriptophyte, Geophyte の3者については、わが国の羊歯類以上のものについてそれぞれ正確な記載がないので、できるだけ図説や著者の野外における記憶をたどつて、それぞれ編入はしてみたが、そのうちには観察を誤つたものが相当にあるものと思つている。

3. Phanerophyte の類別も、R 氏の指定するように 30m 以上のもの、および 30m より 8m までのものを (MM) に、8m より 2m までのものを (M) に、2m 以下のものを (N) に入れるというような数字には必ずしもよつてはいない。直覚的に、いわゆる大木と思うものは (MM) に、中位のものは (M) に、低いと思うものは (N) にいれてあるが、それでもだいたいの高さの標準は R 氏のものによつている。

4. 竹類は皆 Phanerophyte とし、これも、だいたいの高さによつて、MM, M, N の3者にわけている。

以上のように非常に大まかな分けかたであるが、林氏の調査に成る植物名の表を資料として、ひとまず、「スペクトラム」を組み立ててみると、その結果はつぎの Table 1. のようになるのである。またこれを図上に置いてみると、それは Fig. 2, a および Fig. 2, b のよう

になるのである。

いまこのふたつの「スペクトラム」に対する吟味をしてみるとつぎのようになるのである。

まず、いかなる植物気候、たとえば標準型、熱帯多雨、乾燥沙漠、極地等にわけて、その「スペクトラム」がどうなつているかという

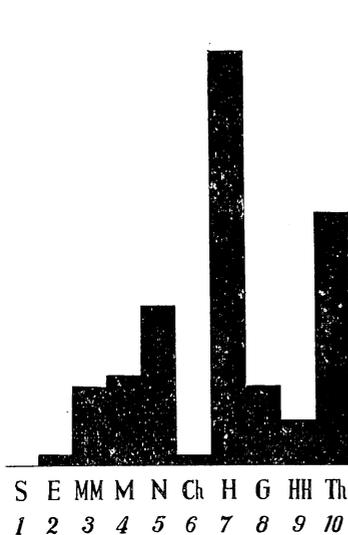


Fig. 2, a. Biological Spectrum at "Muramatsu."
(Originated by Kawada, M. and Hayashi, Y.)



Fig. 2, b. Biological Spectrum at "Megane"
(Originated by Kawada, M. and Hayashi, Y.)

Table 1.

	Forest	Life Form	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	Total
			S	E	MM	M	N	Ch	H	G	HH	Th	
No. 5	村 松 Muramatsu	種 数 No. of Sp.	—	4	36	45	78	6	197	39	21	123	549
		%	—	1	7	8	14	1	36	7	4	22	100
No. 6	目 兼 Megane	種 数 No. of Sp.	—	7	68	50	83	7	324	65	27	117	753
		%	—	1	9	7	12	1	43	9	3	15	100

備考：本表の種類の中には植栽されているものは控除されている。

と、便宜これを Hayek 氏 (同氏著, Allgemeine Pflanzengeographie, S. 101, 1926, Berlin) によつてみるとつぎの Table 2. のよになつている。

Table 2.

		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
		S	E	MM	M	N	Ch	H	G	HH	Th
No. 1	標 準 Normal	1	3	6	<u>17</u>	20	9	17	3	1	<u>13</u>
No. 2	熱帯多雨 Tropical, rainy	1	3	10	<u>23</u>	24	6	12	3	2	<u>16</u>
No. 3	乾, 沙漠 Dry desert	—	—	(0.3)	—	6	<u>13</u>	<u>15</u>	5	2	<u>56</u>
No. 4	極 地 Arctic	—	—	—	—	1	<u>22</u>	<u>60</u>	<u>13</u>	2	2

これである。

そこで、「スペクトラム」No. 1 を略字 Sp. No. 1 とし、以下これに準ずることとする。

Table 1. と Table 2. に掲げた6つの「スペクトラム」は同時に6つの数字列である。しかして、あるひとつの数字列と他のひとつの数字列との間に存する相関関係の高低を知ろうとするにあたり、きわめて簡単なる計算法がある。すなはち順位法 (Rank Method, 河田杰, 間伐と林内簡易統計, 昭和 16 年, 183 頁, 秋豊園, 東京) である。それで著者はこの順位法を用いて、各「スペクトラム」相互間に存する相関々係の高低をしり、その高きものほど、2 者の気候型、または気候がよく似ているものとしたのである。

そこでまず Sp. No. 5 (村松) と Sp. No. 6 (目兼) とを比較してみるとどうなるかという、それはつぎの計算表第1号 (Computation No. 1) のよくなるのである。

Computation 1.

	村 松		目 兼		X-Y	(X-Y) ²		村 松		目 兼		X-Y	(X-Y) ²
	Sp. No. 5	Order (X)	Sp. No. 6	Order (Y)				Sp. No. 5	Order (X)	Sp. No. 6	Order (Y)		
S	—	10	—	10	0	0	Ch	1	8	1	8	0	0
E	1	8	1	8	0	0	H	36	1	43	1	0	0
MM	7	5	9	4	1	1	G	7	5	9	4	1	1
M	8	4	7	6	2	4	HH	4	7	3	7	0	0
N	14	3	12	3	0	0	Th	22	2	15	2	0	0

$\Sigma(X-Y)^2=6$

これを公式 $\rho = 1.0 - \frac{6 \times \sum(X-Y)^2}{n(n^2-1)}$ にあてはめてみると $\rho = 1.0 - \frac{6 \times 6}{10(10^2-1)} = 1.0 - \frac{36}{990} = 0.96$ (ただし ρ は順位法による相関係数, n は数字列の項数, すなわち, この場合

$n=10$) となつて Sp. No. 5 と Sp. No. 6 との間に存する相関々係は非常に高い。すなわち, 2者の気候は, その型において大変によく似ているということになるのである。

されば, 折角「スペクトラム」を誘導して比較してみたのに, 2者はほとんど同一のものであつて, 何らの結果にも到達し得なかつたかという, それは決してさうではないのである。すなわち, この2者の気候が型として互に非常によく似ていることが分明したとそれ自身がすでに本研究のひとつの結果であつて, 研究はさらに進んで, それならばこのふたつの「スペクトラム」はどちらが他の型の「スペクトラム」に一層よく似ているか, すなわち, 他の気候に対して型として近きものであるかを検討せねばならぬのである。

まず Sp. No. 5 と Sp. No. 6 とが Sp. No. 1 すなわち Normal に対していかなる関係にありやを吟味してみるとつぎの計算第2 (Computation No. 2) のようになるのである。

そこで Sp. No. 1 と Sp. Computation 2.

No. 5 との間 の ρ を $\rho(\text{No. 1, No. 5})$ とし Sp. No. 1 と Sp. No. 6 との間の ρ を $\rho(\text{No. 1, No. 6})$ とし公式に よつて計算すると, $\rho(\text{No. 1, No. 5})=0.80$ $\rho(\text{No. 1, No. 6})=0.68$ となつたのである。すなわち 村松と日兼とはその気候の型 はたがいによく似てはいる	No. 1 標準		No. 5 No. 6 村松 日兼		X-Y	X-Z	(Y-X) ²	(X-Z) ²
	Sp. No. 1	Order (X)	Order (Y)	Order (Z)				
S	1	9	10	10	1	1	1	1
E	3	7	8	8	1	1	1	1
MM	6	6	5	4	1	2	1	4
M	17	2	4	6	2	4	4	16
N	20	1	3	3	2	2	4	4
Ch	9	5	8	8	3	3	9	9
H	17	2	1	1	1	1	1	1
G	3	7	5	4	2	3	4	9
HH	1	9	7	7	2	2	4	4
Th	13	4	2	2	2	2	4	4
					$\sum()^2 =$	33	53	

が, これを標準型の気候と比較してみると, No. 5 (村松)の方が, No. 6 (日兼)よりもその気候は一層標準型によく似ているといふこと

となるのである。

つぎに残りの熱帯多雨型「スペクトラム」(Sp. No. 2), 乾燥沙漠型「スペクトラム」(Sp. No. 3), 極地型「スペクトラム」(Sp. No. 4)の3つにつき各その順位列を作つてみるとそれはつぎの Table 3. のようになるのである。

Table 3.

	熱帯多雨		乾燥沙漠		極地	
	Sp. (No. 2)	Order	Sp. (No. 3)	Order	Sp. (No. 4)	Order
S	1	10	—	—	—	7
E	3	7	—	8	—	7
MM	10	5	(0.3)	7	—	7
M	23	2	—	8	—	7
N	24	1	6	4	1	6
Ch	6	5	13	3	22	2
H	12	2	15	2	60	1
G	3	7	5	5	13	3
HH	2	9	2	6	2	4
Th	16	4	56	1	2	4

となるのである。

そこで、 $\rho(\text{No. 5, No. 6})$ 、 $\rho(\text{No. 1, No. 5})$ および $\rho(\text{No. 1, No. 6})$ の3つはすでに計算第1、計算第2で求めてあるから重複を避け、 $\rho(\text{No. 1, No. 2})$ 、 $\rho(\text{No. 2, No. 5})$ 、 $\rho(\text{No. 2, No. 6})$ 、 $\rho(\text{No. 3, No. 5})$ 、 $\rho(\text{No. 3, No. 6})$ 、 $\rho(\text{No. 4, No. 5})$ 、 $\rho(\text{No. 4, No. 6})$ の7つの ρ を求めるとそれはつぎの計算第3 (Computation No. 3) のようになるのである。

Computation 3. a.

	No. 1 A	No. 2 B	No. 5 C	No. 6 D	A-B	B-C	B-D	(A-B) ²	(B-C) ²	(B-D) ²	
S	9	10	10	10	1	0	0	1	0	0	
E	7	7	8	8	0	1	1	0	1	1	
MM	6	5	5	4	1	0	1	1	0	1	
M	2	2	4	6	0	2	4	0	4	16	
N	1	1	3	3	0	2	2	0	4	4	
Ch	5	6	8	8	1	2	2	1	4	4	
H	2	4	1	1	2	3	3	4	9	9	
G	7	7	5	4	0	2	3	0	4	9	
HH	9	9	7	7	0	2	2	0	4	4	
Th	4	3	2	2	1	1	1	1	1	1	
					Σ () ² =	8	31	49			

Computation 3. b.

	No. 3 E	No. 5 C	No. 6 D	E-C	E-D	(E-C) ²	(D-E) ²
S	8	10	10	2	2	4	4
E	8	8	8	0	0	0	0
MM	7	5	4	2	3	4	9
M	8	4	6	4	2	16	4
N	4	3	3	1	1	1	1
Ch	3	8	8	5	5	25	25
H	2	1	1	1	1	1	1
G	5	5	4	0	1	0	1
HH	6	7	7	1	1	1	1
Th	1	2	2	1	1	1	1
					Σ () ² =	53	47

Computation 3. c.

	No. 4 F	No. 5 C	No. 6 D	F-C	F-D	(F-C) ²	(F-D) ²
S	7	10	10	3	3	9	9
E	7	8	8	1	1	1	1
MM	7	5	4	2	3	4	9
M	7	4	6	3	1	9	1
N	6	3	3	3	3	9	9
Ch	2	8	8	6	6	36	36
H	1	1	1	0	0	0	0
G	3	5	4	2	1	4	1
HH	4	7	7	3	3	9	9
Th	4	2	2	2	2	4	4
					Σ () ² =	85	79

以上の計算を資料として得たる ρ およびすでに算出し得たるものをも合併して列べてみるとつぎのようである。

$$\rho(\text{No. 1, No. 2}) = \rho(\text{標準型, 熱帯多雨}) = 0.98 \text{ A}$$

$$\rho(\text{No. 1, No. 5}) = \rho(\text{標準型, 村松}) = 0.80 \text{ B}$$

$$\rho(\text{No. 1, No. 6}) = \rho(\text{標準型, 目兼}) = 0.68 \text{ C}$$

$$\rho(\text{No. 2, No. 5}) = \rho(\text{熱帯多雨, 村松}) = 0.81 \text{ D}$$

$$\rho(\text{No. 2, No. 6}) = \rho(\text{熱帯多雨, 目兼}) = 0.70 \text{ E}$$

$$\rho(\text{No. 3, No. 5}) = \rho(\text{乾燥沙漠, 村松}) = 0.68 \text{ F}$$

$$\rho(\text{No. 3, No. 6}) = \rho(\text{乾燥沙漠, 目兼}) = 0.72 \text{ G}$$

$$\rho(\text{No. 4, No. 5}) = \rho(\text{極地, 村松}) = 0.48 \text{ H}$$

$$\rho(\text{No. 4, No. 5}) = \rho(\text{極地, 目兼}) = 0.52 \text{ I}$$

以上の結果を摘要し、かつ結論をくだすときの数項に帰せしむることができる。

(1) 計算第1により村松と目兼とは気候の型が非常によく似ている。

(2) B, C の結果からみて、2者の気候は型としてよく似ていても、さらにこれをこまかく比較してみると、村松の気候の方が、目兼の気候よりも一層標準型によく似ている。しかるに A の結果からみて、標準型と熱帯多雨型とはほとんど完全に一致しているといつてもよいほど似ているものである。以上を総合して、村松の気候の方が目兼の気候に比して一層熱帯多雨型、すなわち、ある意味において標準的の常緑林の気候に似ているということがいえる。これはこのふたつの国有林が現に占めている植生上の位置からみて、まさに合理的の結論である、さらに D, E の結果はこの結論を裏書きして証明しているものといえるのである。

(3) B, C, D, E, F, G, H および I の ρ の値を比較してみて、村松と目兼の気候は型としてどちらかといえば、熱帯多雨型に近く、乾燥沙漠や極地の型には遠いものである。これはわが日本の位置、ことに茨城県の北部から福島県の東部の植生的にみたる位置からみて、合理的の結論を与えているものといえる。

(4) $F < G$ であり、同時に $H < I$ の結果は何を語るものであるかということ、物理的にもつとも乾燥せる環境からみて、生理的にもつとも乾燥せる環境からみて、村松の気候の方が、つねに目兼の気候に比して、型として溫和なものであることを示しているものといえる。これは、目兼の森林はむしろ落葉樹林のなかに存しているに比し、村松の森林は常緑樹林のなかに位置している事実からみて合理的の結論である。

以上のようなわけで、まず一応 R 氏の「スペクトラム」を編成して気候の型の大勢を知ることは、これまでも数多くの学者によつて試みられているが、さらにこれに順位法を適用して、1段掘りさげて、その細別にまで言及したのは著者をもつて最初とするように思われる。

3 当該地方の気候の特徴と植物の種類 (河田, 林協同担当)

既述せるごとく、鹿嶋灘はその洋上において暖流たる黒潮と、寒流たる親潮とが相触れ、相激することによって有名な海である。

したがつて早春より初夏にかけての気温の激変、濃霧、ことに東北風の吹く日の気温の急な低下等は当該地方の気候の特徴である。かかる気候の特徴のあらわれとして、寒流の影響を受けて遠く北方にその本来の郷土をもつ寒地性の植物の南下してきたもの、およびこれとは逆に黒潮の影響を受けて、元来は南方の暖地に多く生活しかつ普通に見るものが北上してこの辺に到達したものが、2者相並び、相混じて生活しているのがこの地方の植生の一大特徴ともいえるのである。

この現象はすでに河田杰著 森林生態学講義 (page 348~350) のなかにも、村松国有林においてその砂丘の1部にはシロヨモギの自生をみ、その林内にオホウメガササウの群落を発見するかと思えば、海岸林のクロマツやアカマツの粗皮の上には、ベニカヤランやヤウラクランの着性をみると記述してあるが、今回の植物調査を機としさらに精査を加えたところ、なお幾多の植物を、この意味において加えることができるようになったのみならず、この傾向は海岸林たる村松国有林ほどではないが、日兼国有林にも同様の事象が現われていることを発見するに至つたのである。

以下、すこしこのことについて記述してみよう。

村松国有林

ただし植物名のつぎに(砂)と記したものは白砂丘の上に立つものである。

(1) 比較的暖地産(南方系)と思われるもの

ヒロハベニシダ、スダジイ、トキワアケビ、ナンテン、ビナンカツラ、ヒメユヅリハ、モチノキ、モクコク、オホバグミ、イヨカツラ(砂)、ハマグルマ(砂)、ハタガヤ(砂)、ハماغ(砂)、ピラウドテンツキ(砂)、イボクサ、ヒアフギ、ベニカヤラン、カヤラン、ヤウラクラン等で、このうち特に南方気候の指標として高度のものはハマグルマ、ヤウラクラン、ベニカヤラン、カヤラン、イヨカツラ等である。

(2) 比較的寒地産(北方系)のもの

オカヒジキ(砂)、ハマハタザオ(砂)、ハマナス(砂)、ヤナギタンポポ、オホウメガササウ、ウンラン(砂)、ヤマハハゴ、シロヨモギ(砂)、オホニガナ、ハマニンニク(砂)、クロカハズスゲ、スカシユリ(砂)、ヒメイズイ等である。このうち特に指標植物として高度のものはヒメイズイ、シロヨモギ、スカシユリ、ハマナス等である。

なお以上のうちトキワアケビ、モクコク、ヒメユヅリハ、ハマグルマ、ナンテン、ピラウドテンツキ等は天然分布の北限があるいはこれに近いものようであり、オホウメガササウ、ハマナス、シロヨモギ等は天然分布の南限か、あるいはこれにちかいものと思つている。

日兼国有林

(1) 比較的暖地性(南方系)のものと思われるものは

カウヤコケシノブ、ヤワラシダ、オホベニシダ、マメヅタ、タチシノブ、オホイタチシダ、コモチシダ、カニクサ、シラカン、スダジイ、イタビカツラ、シロダモ、ユリワサビ、イヌザクラ、ジャケツイバラ、ヤブツバキ、エノシマキブシ、テイカカツラ、ナツノタムラサウ、モミヂタマブキ等である。

(2) 比較的寒地性(北方系)のものと思われるものは

カウライメシダ、オンダ、ミヤマベニシダ、オヒヨウニレ、ミチノクサイシン、ヒロハノキハダ、コクハヅル、アマニウ、ジンヤウイチヤク、レンブクサウ、ノツボロガンクビサウ、オ

ホニガナ、オヤリハグマ、センダイトウヒレン、ヒロハドジョウツナギ等である。

このうちタチシノブ、モミヂタマブキ等は天然分布の北限地に近く、ノツボロガンクビノウ、オヤリハグマ、センダイトウヒレン等は天然分布の南限にちかいものと思われる。

4 村松, 目録両国有林の植物 (林担当)

凡 例

1. 学名とその配列順序は便宜上ハナワラビ科よりミヅキ科までとガマ科よりラン科までは大部分理学博士本田正次氏の「日本植物名彙」により、イチヤクソウ科よりキク科までは理学博士原寛氏の「日本種子植物集覧」Ⅰ, Ⅱによつた。一部他の学者の説によつたものもある。科名は日本植物分類学会決定(植物学雑誌昭和 27 年7~8 月号 p. 200~203)のものによつた。

2. 植物目録和名のあとの付号は「ラウンキエール」氏の生活形記号をあてはめたものである。日本の実状に応じてシダ類, ツル植物等にも適宜当てはめた。

3. 前国立科学博物館長故中井猛之進博士には高等植物全般の鑑定を得, かつ同館所蔵の標本の閲覧を許され, 同館学芸部長佐竹義輔博士にはイラクサ科, イグサ科等, 東邦大学教授久内清孝氏には顕花植物全般, 科学博物館大井次三郎博士にはカヤツリグサ科, イネ科, バラ科, マメ科, タデ科等, 東大理学部植物学教室の前川文夫博士にはカンアオイ類等, 文理大の伊藤洋博士にはシダ類, 山形大学の佐藤正己博士にはサルオガセ類, 科学博物館の奥山春季氏には顕花植物全般をそれぞれ御鑑定下さつた。ここに厚く御礼申し上げる次第である。

(1) 植物分類地理学上興味ある植物の概説

A 村松国有林

1. シラカンバ (*Betula platyphylla* Sukatchev. var. *japonica* Hara) カバノキ科

本植物は樺太を天然分布の北限地としそれから南千島, 北海道, 本州中部まで広く分布し, 天然分布の南限地は静岡県周智郡気多村であろう。この植物は樹肌が白く美しく多くの人に知られ親まれており, 決して珍しいものではないが, ただ1 本とはいへこの海岸のクロマツ林下のしかも海拔5 米ばかりの低地に生育していることは大変珍しいことである。現在根本直径3 種, 樹高2 米あまりに生育している。この国有林を長く監理していた人の話によつても植栽されたということはないという。筆者等は, 山の役人がシラカンバのあるような深山を歩いてきてそのままここにより, 種子が登山靴にでも附着してそれが生え生育したものではなからうかと思う。附近にはヤナギタンポポ, ヤマハハコ等の寒い地方に多く産する種類がみられる。

2. ハマグワ (*Morus bombycis* Koidzumi var. *maritima* Koidzumi) クワ科

本種はヤマグワの変種で落葉の灌木をなし, ヤマグワより葉が厚く光沢があり海岸や島嶼に

生じている。このクワの産するところは潮風はなほだしく普通のクワは生育しない。これは最初朝鮮の鬱陵島で発見され別名をタケシマガワともいう。鬱陵島の外江原道の海岸や黄海、京畿、全南の属島に生じ、また北海道や本島の海岸にも生ずることが知られている。しかしこの海岸にもあるというものではない。当村松では風当りの最も強い第一線の砂丘に局部的に群生し、なかに点々マサキ、トベラ等が生じている。附近にはシロヨモギ、スカシユリ、スイバ、アキノノゲシ、ハマニシク、ハチジョウナ等がみられる。

3. ムベ (*Stauntonia hexaphylla* Decaisne) アケビ科

本種は一名トキワアケビともいう常緑の藤本で、葉は長柄を有し5乃至7小葉よりなる掌状複葉で革質をなし全辺無毛で光沢がある。秋日卵円形で紫紅色の漿果を結びアケビのように開裂しない。うちに白色の黒肉があり甘くてうまい。往時この果実を薬籠に容れこれを朝廷に献上したので、オホニヘスなわちオホムベといつた。天然分布の北限地山形県飛鳥(日本海側)以南の本州各暖地、伊豆七島、四国、九州、朝鮮南部および群島、濟州島、種子ヶ島、屋久島、奄美大島、琉球、台湾、中華民国東部等の暖地に広く天然分布することが知られている。村松海岸林には海岸より少しく内陸に入った社叢のカシ林下等に点々自生している。太平洋側における天然分布の北限地かそれに近いものと思われる。ここより少しく北の林業試験場高萩試験地の構内林中にもありよく実をつけるがこれは植栽と思われる。

4. ハナハタザオ (*Dontostemon dentatus* Ledebour) アブラナ科

本種は海岸砂地或いは山間向陽の地に生ずる越年生草本で、茎は直立し高さ15~60 釐となり上方多くは分枝する。葉は互生し線状倒披針形で先端やや鈍形を呈し辺縁に粗なる鋭鋸歯がある。五月ごろ繖状花序を成して淡紅紫色の十字花を綴る。この植物は分布が本州中部の海岸に限られている。当村松では海岸林の黒松林下等に点々生えている。和名花旗竿は美花を開くのでとくに花といつたものである。

5. ハマナス (*Rosa rugosa* Thunberg)バラ科

本種は主として海岸の砂地に生ずる落葉の灌木で、6月頃紅色の優美な花を開く。牧野博士によるとハマナスは誤称でハマナシが正しいという。寒地性の植物で樺太、千島、北海道、本州、朝鮮北部アジア等に広く天然分布する。本州における天然分布は日本海側は青森県から島根県まで、太平洋側は青森県から茨城県鹿島浦の大小志崎までである。当村松では南部国立療養所寄りの海岸に群生している。この村松海岸は水戸市の東北方であるので太平洋岸における天然分布の南限地ではないがまずそれに近いものである。

6. ヒメユズリハ (*Daphniphyllum glaucescens* Blume) トウダイグサ科

本種は海岸樹林中に生ずる常緑高木で葉はユズリハに似て小さい。今日までに本州の房総半島以南の各地、伊豆半島、四国、九州、種子ヶ島、屋久島、琉球、朝鮮、濟州島、中華民国等の暖地に広く天然分布することが知られている。村松海岸においては灌木性のものが数本みら

れたのみである。当村松はこの植物の天然分布の北限地かと思われる。また普通のユズリハの小高木も境内林等にみられるがヒメユズリハとは生育地がやや違っている。

7. モクコク (*Ternstroemia Mokof Nakai*) ツバキ科

本種は近海の林地に生ずる常緑の高木で、葉は平滑で質厚く全辺無毛である。本州の房総半島以南の各地、四国、九州、屋久島、琉球、台湾、朝鮮、濟州島、中華民国南部、印度、比島、ボルネオ、スマトラ、セイロン、カンア等に広く天然分布していることが知られている。村松では神社社叢に点々自生がみられる。この地は天然分布の北限地かあるいはそれに近いものと思われる。なお附近にはオウツルマサキやナンテンの自生もみられる。

8. オオウメガサソウ (*Chimaphila umbellata* W. Barton) イチャクソウ科

本種は常緑の多年生草本で、葉は披針形あるいは長楕円状倒卵形をなし革質鮮緑色で夏日梗莖をぬき出し桜の花に似た白色、あるいは赤色の可憐な小花を数輪開き傾垂する。欧亞、樺太、北海道、本州北部以南茨城県まで天然分布する寒地性の植物である。村松海岸林では局部的にクロマツ林下の砂地に群生している。寒地性の植物がここまでできてさかんに繁生していることはまことに珍しいことである。当地に自生のあることは植物学界にもすでに知られており、この地が天然分布の南限地である。附近には普通のウメガサソウもみられる。

9. シロヨモギ (*Artemisia Stelleriana* Besser) キク科

本種は多年生の草本で、莖は直立し長さ 20~40 釐となり、葉はやや厚質で莖とともに灰白色の絨毛を密布し、草全体が灰白色に光つて見え美しい。秋日莖の上部に比較的大粒の頭状花を着ける。樺太、千島、北海道、本州(太平洋側茨城県以北、日本海側佐渡以北)、朝鮮、沿海州、カムチャツカ等の海岸砂地に広く分布する寒地性植物である。村松では諸々の海岸砂地にその白たえの姿がみられる。ここより僅かに南方である磯崎海岸まで分布がみられるがこの地は天然分布の南限地に非常に近いものである。なお附近にはやはり寒地性のハマニンニク、ハチジョウナ等が生えている。

10. ハマグルマ (*Wedelia prostrata* Hemsley) キク科

本種は一名ネコノシタともいい、海岸砂地に生ずる多年生草本で往々大群生し砂場を覆うことがある。莖は長く砂上を匍つて節から根をおろす。葉は卵形で疎鋸歯を有し葉質厚く莖葉ともに漚漚である。夏日枝頭に黄色の頭状花を開く。本州の房総半島以西の暖地海浜、四国、九州、琉球、台湾、朝鮮濟州島、小笠原、中華民国、印度支那等に広く天然分布することが知られている。当村松では国立療養所方面の海岸砂地にかつては点々自生をみたが、今日ではごく稀にしかみられない。ここより少しく南方の大洗等にもある。ともかくこの村松は天然分布の北限地かそれに近い地と思われる。附近には宮城県方面まで分布はしているが暖地性の植物であるイヨカヅラ、ビロウドテンツキ、ハタガヤ、ハマスゲ等もみられる。

11. スカリユリ (*Lilium maculatum* Lindley var. *elegans* Koidzumi) ユリ科

本種は海岸の砂地や海岸近い低山の崖地等に自生をみるユリ類で、鱗茎は地中深くあり白色で鱗片は著しく尖つている。6, 7月の候茎頂に繖形状をなして2, 3花を開き上向する。花蓋片は黄赤色広漏斗状をなし、上半やや開出し下半は漸尖底をなすため各片間に空隙を生じ、スカン(透し)の名を生じたものである。本州の北部, 中部(伊豆半島等)から伊豆七島等の沿岸地に天然分布する。当村松では海岸砂地のいたるところに自生がみられる。茎は長く砂地を這い、ことに長いものは1.5米にも及ぶものがある。

12. ヒメイズイ (*Polygonatum humile* Fischer) ユリ科

本種は一名ヒメアマドコロといい多年生小草本で地下茎は肥厚し茎は分岐せず、高さ10~15 ㎝ばかりとなる。葉は薄質鮮緑色で夏目葉腋より細梗を出し、白色壺形の花を下垂する。樺太, 千島, 北海道, 本州北中部(伊吹山頂等にもある)に分布をみる寒地性の植物で主として海岸や原野に産する。村松では海岸の砂丘林等に生じ局部的に群生しているところもある。はるか南方の千葉県銚子犬吠崎附近にもあるが、その間どこにもざらにあるというものではなく太平洋側の海岸としては北方系の植物として珍しいものと思われる。附近にやはり北方系のクロカワズグ等がみられる。

13. ハマカキラン (*Epipactis Sayekiana* Makino) ラン科

本種は海浜砂地の疎林中に生ずる多年生草本で根株は比較的大きく、茎は直立し、高さ20~40 ㎝ばかりとなる。葉は薄質でやや硬く無毛鮮緑で脈条顯著で皺をなしている。初夏の候総状花序をなして開花する。花は緑色で紅暈を帯びている。関東地方の海岸砂地や湿地に限られている比較的珍しい植物である。村松では波打ちぎわより200 米ばかり入つた凹地の通称青塚というクロマツを主とする砂丘林の樹下の一局部に群生し、その他の砂地にも稀にみられる。ここは天然分布の北限地に近いものと思われる。なお砂丘林にはキクアザミ, マルバミツバアケビ, ハマサオトメカヅラ, ヒオウギ等も生じている。

14. ペニカヤラン (*Gastrochilus matsuran* Schlechter) ラン科

一名マツランともいう常緑の小気生蘭で茎側から出す白緑色の線状根をもつて、暖地のマツ類, モミ等の樹皮上に着生する。葉は肥厚し革質で線状長楕円形をなし、緑色を呈し、両面に紫斑点を布く。花梗は葉の反対側に側出して葉より短く、梗頂に短小なる総状花穂を成して黄緑色にして紫細点を有する小花を1乃至3個着ける。ペニカヤランの名はカヤランに類して葉や花に紫点があるからである。本種は本州の宮城県小牛沼以南の暖地, 四国, 九州, 対島, 屋久島に天然分布することが知られている。当村松では主としてクロマツの樹幹に着生している。時に樹幹一面に群生していることもある。天然分布は前記のように遠く宮城県まで行つているが、その間にどこにもざらにあるというものではないのでここに自生することは珍しいことである。なおカヤランも境内林のカヤの樹に着生している。

15. ヨウラクラン (*Oberonia japonica* Makino var. *aurantiaca* Makino) ラン科

本種は暖地のモミ、クロマツ、ツガ等の樹幹や岩上等に着生して傾垂する常緑小形の多年生気生菌で、成長程度の異なるものが大小相依つて群を成している。葉は無毛平滑で長楕円形、あるいは披針形でかつ鎌状を帯びて尖り、淡緑色多肉で多数袴状に兩列する。5月ごろ茎頂に細長い花穂を穂状に垂れ、全体柑黄色を呈し極めて小さい淡黄色の花を多数開く。この植物は宮城県金華山を天然分布の北限地とし、それから以南の本州各地の暖地、四国、九州、対島、屋久島等に分布する。当村松では海岸林のクロマツの樹幹に着生している。本種のみが着生し群落をなすこともあり、また前記のベニカヤランとまじり着生していることもある。前にも記したように天然分布の北限地ではないが、産地としては北限地に次ぐものと思われ珍しいものである。

16. フクレサルオガセ (*Usnea japonica* Wain.) サルオガセ科

——本種は高等植物ではないが特殊なものであるのでここにとりあげたものである——本州等の高山のコメツガ、シラベ等の樹枝に普通に着生懸垂しているサルオガセ (*Usnea diffracta* Wain.) に似た糸状地衣で、当村松海岸のクロマツ大木の樹幹に一面懸垂して異様な景観を呈している。このフクレサルオガセは本州、四国、小笠原、台湾等に分布する。type-locality は宮城県仙台市附近である。地衣類の専門家佐藤正巳博士に鑑定を依頼し、本種であることが判明した。

B 目兼国有林

1. コウライメンダ (*Athyrium rubripes* Komarov.) ウラボシ科

本種はメンダに類似しやや大形のシダ類で蔭地に生ずる。北海道から朝鮮済州島、朝鮮、満洲等に天然分布することが知られている。本州にも産するがその産地は明らかでない。当目兼ではヒノキ造林地内の小溪側の蔭地に小群生していた。シダ類の専門家伊藤洋博士に鑑定していただき本種であることが判明した。分布上珍しいものと思われる。

2. タチシノブ (*Onychium japonicum* Kunze) ウラボシ科

本種は山地のやや乾燥したところに生ずる多年生常緑シダ類で、根茎は這い葉は疎に多数出る。葉面は長卵状披針形で細かく3~4回羽状に分れる。実葉、裸葉の別があり実葉は長柄を有して裸葉より高く描き出る。本州の関東地方以南、四国、九州、台湾、中国、ヒマラヤ、フィリピン、ジャバ等に広く天然分布する暖地性シダである。関東地方では南部にはあるが北部には稀で、現在までに知られている北限地は栃木県下都賀郡鍋山である。当目兼はここより北であるので天然分布の北限地かあるいはそれに近いものと思われる。目兼では国有林の林道べりに数株みられたのみである。附近にはツルシノブ、コモチシダ、ヤワラシダ等の暖地性シダ類が生えている。国有林外の民家の家敷林にはマメヅタやイタビカヅラのような暖地性植物がみられる。

3. ミチノクサイシン (*Heterotropa Fauriei* F. Maekawa) ウマノスズクサ科

本種は樹陰に生ずるカンアオイの一種で茎は長く地中を横走し、節間長く1～3個の葉を生ずる。葉は深緑色で光沢があり斑紋がない。花は暗紫色小形で萼筒は短く花柱は突出している。本州の東北地方から中部地方に到る山地のブナ帯の森林下に生じ、カンアオイ中海拔の最も高い所まで自生する。当目兼国有林では各所の樹陰下に点生している。分布上珍しいものと思われる（前川博士の鑑定による）。なおこの国有林には同科のフタバアオイとウスバサイシンの2種を産する。

4. エノシマキブシ (*Stachyurus ovalifolius* Nakai) キブシ科

本種は落葉の小高木でキブシより葉が大きく、卵形または広楕円形を呈し革紙質で厚く表面に光沢があり心状截脚をなし花卉長く果実もまた大きい。そして主として沿海の地に生育する。最初神奈川県江ノ島で発見されその名をとつたもので、北は福島県から海岸添いに紀伊半島方面にまで天然分布している。当目兼では国有林の東北に接続した民有林の道添いの裸地に点々自生している。天然分布の北限地にやや近いものと思われる。附近にノイバラの薄紅色花を開くウスアカノイバラが数株生えていた。

5. ツクバキンモンソウ (*Ajuga yesoensis* Maxim. var. *tsukubana* Nakai) シソ科

この植物は多年生小草で草丈5～6 糎ばかりとなりニシキゴロモ（キンモンソウ）の変種で、通常脈に沿い紫色を呈し、また葉裏も紫色を帯びている。

ニシキゴロモは花冠上唇二裂し側片と同長であるが、ツクバキンモンソウでは花冠上唇は単に齒裂するのみで側片よりはるかに短い等の相違がある。最初の発見地は茨城県の筑波山であるが関東地方一帯に分布している。

当目兼国有林では林下の疎開地等に点々自生している。当地は天然分布の北の方にあたるものと思われる。

6. モミヂタマブキ (*Cacalia farfaraefolia* Sieb. et Zucc. var. *acerina* Kitamura) キク科

多年生草本で高さ40～60 糎ばかりとなり、北海道から九州まで広く天然分布するタマブキにくらべて葉が五浅裂或いは不齊浅裂状粗齒牙縁をなすので区別される。茎の上部の葉腋に帯卵球形の肉芽を生ずることはタマブキと同様である。この植物は静岡県（富士山、桜ヶ島等）、紀伊半島（大台ヶ原山、大峯連峯等）、広島県（恵下谷山等）、四国（劔山、別子山等）、九州（多良岳等）に分布することが知られている暖地性の植物である。当目兼国有林には一局部に点生している。分布上珍しい植物の一つと思われる。

7. ノツボロガンクビソウ (*Carpesium* Matsuei Tatewaki et Kitamura) キク科

本種は北海道の野幌で最初発見されたヤブタバコの類で、茎は直立して高さ60～90 糎ばかりとなり、葉は薄質で下部の葉は大きく長さ12～13 糎となる。北海道（野幌、空蘭等）から本州の青森県（八甲田山、恐山等）、栃木県（上都賀郡古峯原、日光、二股山、出流山等）、群

馬県(三平峠, 伊香保等), 石川県(市ノ瀬等)等に天然分布することが知られている。当目兼国有林ではヒノキの植栽林下の沢添い等に点々生じている。分布上珍しいものの一つと思われる。

8. オヤリハグマ (*Macrocladia trilobum* Makino) キク科

本種は多年草で樹陰下に生じ、通常高さ 30~70 ㎝となり、葉は互生し長柄あり、質硬くして上部が三裂する特徴があるハグマ類である。主産地は東北地方南部で関東地方、中部地方(新潟県下)等にも少しく生ずる。すなわち宮城県下の雄勝, 牧ノ崎, 蕃山, 刈田郡福岡村, 福島山形両県下の各地, 新潟県岩船郡村上地方以北の各地, 栃木県下那須郡鷺子山, 同郡須賀川村, 八溝山等, 茨城県下多賀郡華川村, 久慈郡大子町等に天然分布している。当目兼国有林では杉植栽林下や広葉樹林下等に生じている。ここは天然分布の南限地ではないが、それに近く分布上やや珍しい植物である

9. センダイトウヒレン (*Saussurea nipponica* Miq. Subsp. *sendaica* Kitamura) キク科

本種は多年生でオオダイトウヒレン等に類似するトウヒレン類で草丈 30~60 ㎝となる。岩手県下の山形, 安家, 吉浜, 釜石, 鶴住居, 甲子, 船越等, 宮城県の仙台市附近一帯, 船形山, 栗駒山等, 山形県下の吾妻山麓, 福島県下の吾妻山麓, 阿武隈高原一帯, 栃木県下河内郡国本村, タケ山等に天然分布していることが知られている。目兼国有林では向陽の裸地に多く生じているが時に林下の疎開地等にもみられる。この地は天然分布の南限地ではないがそれに近い産地である。

10. オタルスゲ (*Carex otaruensis* Franch) カヤツリグサ科

本種は別名をミトスゲ, ヒメテキリスゲ等という多年生のスゲ類で匍枝を曳く。茎は細長く葉と同長で鋭稜柱をなし糙波で高さ 30~60 ㎝となる。最初フオリー氏が小樽で発見されたものである。天然分布は北海道の小樽附近, 本州の宮城県松島, 福島県の阿武隈高原, 茨城県水戸, 筑波山, 福井県熟賀, 黒河山, 長野県諏訪, 上高地, 近畿, 中国の各地方, 四国の劔山, 白井峠, 九州の九重山, 春振山, ナリタケ山等比較的広いがどこにもあるというのではなく珍しいスゲである。当目兼では国有林の溪側に小群生している。

11. ニツコウコウガイゼキショウ (*Juncus nikkoensis* Satake) イグサ科

本種は湿地に生ずる植物で茎は直立し円柱形で高さ 20~30 ㎝となる。茎葉は 3~4 枚で長さ 1 ㎝ばかりある。花序は複生で 3~13 頭花をなし各頭花は 3~6 花よりなる。果実は卵状三稜形で嘴がある。最初日光で発見され佐竹襄輔博士が命名されたもので通常日光一帯, 那須山等の高山湿地に生ずるものである。当目兼では山間の湿地に小群生していた。低海拔のこの地に生ずることと分布の偏していることが注目に値し、鑑定してもらった命名者佐竹博士も珍しがられていた。

(2) 植物目録

A. 村松国有林植物目録

PTERIDOPHYTA 羊歯植物門

1. Polypodiaceae ウラボシ科

1. <i>Asplenium incisum</i> Thunb.	トラノオシダ	H
2. <i>Athyrium multifidum</i> Rosenstock var. <i>deltoideum</i> Nakai	サトメシダ	H
3. <i>A. niponicum</i> Hance	イヌワラビ	H
4. <i>A. niponicum</i> Hance var. <i>metallicum</i> Makino	ニシキシダ	H
5. <i>Cyrtomium Fortunei</i> J. Smith	ヤブソテツ	H
6. <i>Diplazium oshimense</i> H. Ito	シケシダ	H
7. <i>D. grammitoides</i> Presl	ホソバシケシダ	H
8. <i>Dryopteris erythrosora</i> O. Kuntze	ベニシダ	H
9. <i>D. hondoensis</i> Koidzumi	ヒロハベニシダ	H
10. <i>D. lacera</i> O. Kuntze	クマワラビ	H
11. <i>D. uniformis</i> Makino	オクマワラビ	H
12. <i>D. varia</i> O. Kuntze	イタチシダ	H
13. <i>Fuziifilix pilosella</i> Nakai et Momose	イヌシダ	H
14. <i>Lepisorus Thunbergianus</i> Ching	ノキシノブ	E
15. <i>Leptogramma totta</i> T. Smith	ミゾシダ	H
16. <i>Phegopteris decursive-pinnata</i> Fée	ゲジゲジシダ	H
17. <i>Polystichum japonicum</i> Diels	イノデ	H
18. <i>Pteridium aquilinum</i> Kuhn var. <i>japonicum</i> Nakai	ワラビ	G
19. <i>Thelypteris glanduligera</i> Ching	ハンゴシダ	H
20. <i>T. japonica</i> Ching	ハリガネワラビ	H
21. <i>T. oligophlebia</i> Chig	ヒメワラビ	H
22. <i>T. palustris</i> Schott var. <i>pubescens</i> Fernald	ヒメシダ	H

2. Osmundaceae ゼンマイ科

23. <i>Osmunda japonica</i> Thunberg	ゼンマイ	G
--------------------------------------	------	---

3. Equisetaceae トクサ科

24. <i>Equisetum arvense</i> Linnaeus	スギナ	G
25. <i>E. ramosissimum</i> Desfontaines var. <i>glaucum</i> Nakai	イヌドクサ	G

SPERMATOPHYTA 種子植物門

GYMNOSPERMAE 裸子植物亞門

4. Ginkgoaceae イチョウ科

26. <i>Ginkgo biloba</i> Linnaeus	イチョウ (植栽)	MM
-----------------------------------	-----------	----

5. Taxaceae	イチイ科		
27. Torreya nucifera Siebold et Zuccarini		カヤ	MM
6. Cephalotaxaceae	イヌガヤ科		
28. Cephalotaxus drupacea Siebold et Zuccarini		イヌガヤ	M
7. Abietaceae	モミ科		
29. Abies firma Siebold et Zuccarini		モミ	MM
8. Pinaceae	マツ科		
30. Pinus densiflora Siebold et Zuccarini		アカマツ	MM
31. P. Thunbergii Parlatores		クロマツ	MM
32. P. montana Mill		オウシウハイマツ(植栽)	N
9. Cryptomeriaceae	スギ科		
33. Cryptomeria japonica D. Don		スギ(植栽)	MM
10. Cupressaceae	ヒノキ科		
34. Chamaecyparis obtusa Endlicher		ヒノキ(植栽)	MM
35. C. pisifera Endlicher		サワラ(天然生および植栽)	MM
36. C. pisifera Endlicher var. filifera Masters		ヒヨクヒバ(植栽)	M
37. Thujopsis dolabrata Siebold et Zuccarini		アスナロ(植栽)	MM
11. Juniperaceae	ビヤクシン科		
38. Juniperus conferta Parlatores		ハイネズ	N

ANGIOSPERMAE 被子植物亞門

DICOTYLEDONEAE 双子葉植物綱

ARCHICHLAMYDEAE 古生花被植物亞綱

12. Saururaceae	ドクダミ科		
39. Polypara cordata Bueck		ドクダミ	G
13. Salicaceae	ヤナギ科		
40. Populus Sieboldi Miquel		ヤマナラシ	M
41. Salix babylonica Linnaeus		シダレヤナギ(植栽)	M
42. S. Gilgiana Seemen		カワヤナギ	N
43. S. integra Thunberg		イヌコリヤナギ	N
44. S. triandra Linnaeus var. nipponica Seemen		タチヤナギ	M
14. Betulaceae	カバノキ科		
45. Alnus japonica Steudel		ハンノキ	M
46. Betula platyphylla Sukatchev var. japonica Hara		シラカンバ	M
47. Carpinus laxiflora Blume		アカシデ	MM
48. C. Tschonokii Maximowicz		イヌシデ	MM
15. Fagaceae	ブナ科		
49. Castanea crenata Siebold et Zuccarini		クリ	MM
50. Cyclobalanopsis acuta Oersted		アカガシ	MM
51. C. glauca Oersted		アラカシ	MM
52. Quercus acutissima Carruthers		クスギ	MM

53.	<i>Q. crispula</i> Blume	ミヅナラ	MM
54.	<i>Q. donarium</i> Nakai	テリハコナラ	MM
55.	<i>Q. major</i> Nakai	オウバコナラ	MM
56.	<i>Q. serrata</i> Thunber	コナラ	MM
57.	<i>Shiia Sieboldi</i> Makino	スダジイ	MM
	16. Ulmaceae ニレ科		
58.	<i>Celtis sinensis</i> Persoon var. <i>japonica</i> Nakai	エノキ	MM
59.	<i>Zelkova serrata</i> Makino	ケヤキ	MM
	17. Moraceae クワ科		
60.	<i>Broussonetia Kazinoki</i> Siebold	コウゾ	M
61.	<i>Fatoua villosa</i> Nakai	クワクサ	Th
62.	<i>Morus bombycis</i> Koidzumi	ヤマグワ	M
63.	" form <i>dissecta</i> Nakai	ホソバヤマグワ	M
64.	" var. <i>maritima</i> Koidzumi	ハマグワ	N
	18. Cannabinaceae アサ科		
65.	<i>Humulus japonicus</i> Siebold et Zuccarini	カナムグラ	Th.
	19. Urticaceae イラクサ科		
66.	<i>Achudemia japonica</i> Maximowicz	ヤマミヅ	Th.
67.	<i>Boehmeria frutescens</i> Thunberg	カラムシ	H
68.	<i>B. tricuspis</i> Makino	アカソ	H
69.	<i>Pilea viridissima</i> Makino	アオミヅ	Th.
	20. Santalaceae ビヤクダン科		
70.	<i>Thesium chinense</i> Turczaninow	カナビキソウ	H
	21. Aristolochiaceae ウマノスズクサ科		
71.	<i>Aristolochia debilis</i> Siebold et Zuccarini	ウマノスズクサ	G
	22. Polygonaceae タデ科		
72.	<i>Persicaria conspicua</i> Nakai.	サクラタデ	HH.
73.	<i>P. Hydropiper</i> Spach var. <i>unlgaris</i> Ohki	ヤナギタデ	Th
74.	<i>P. longiseta</i> Kitagawa	イスタデ	Th
75.	<i>P. nipponensis</i> Gross	ヤノネグサ	Th
76.	<i>P. Posumbu</i> Gross	ハナタデ	Th
77.	<i>P. Sieboldi</i> Ohki	アキノウナギツカミ	Th
78.	<i>P. tenuiflora</i> Hara	オオイスタデ	Th
79.	<i>P. Thunbergii</i> Gross	ミゾソバ	HH.
80.	<i>Polygonum aviculare</i> Linnaeus	ニワヤナギ	Th
81.	<i>Reynoutria japonica</i> Houttuyu	イタドリ	H
82.	<i>Rumex Acetosella</i> Linnaeus	スイバ	H
83.	<i>R. obtusifolius</i> Linnaeus subsp. <i>agrestis</i> Danser	エゾノギンギン	H
84.	<i>Tovara filiformis</i> Nakai	ミヅヒキ	H
	23. Chenopodiaceae アカザ科		
85.	<i>Chenopodium album</i> Linnaeus.	シロザ	Th.
86.	<i>C. centrорubrum</i> Nakai.	アカザ	Th.

87.	<i>C. ficifolium</i> Smith	コアカザ	Th
88.	<i>Salsola Komarovi</i> Iljin	オカヒジキ	Th
	24. <i>Amarantaceae</i>	ヒユ科	
89.	<i>Achyranthes japonica</i> Nakai	イノコヅチ	H
90.	<i>Euxolus ascendens</i> Hara	イヌビユ	Th
	25. <i>Phytolaccaceae</i>	ヤマゴボウ科	
91.	<i>Phytolacca americana</i> Linnaeus	ヨウシユヤマゴボウ	G
92.	<i>P. esculenta</i> Van Houtte	ヤマゴボウ	G
	26. <i>Aizoaceae</i>	ザクロソウ科	
93.	<i>Mollugo stricta</i> Linnaeus	ザクロソウ	Th
	27. <i>Portulacaceae</i>	スベリヒユ科	
94.	<i>Portulaca oleracea</i> Linnaeus	スベリヒユ	Th
	28. <i>Caryophyllaceae</i>	ナデシコ科	
95.	<i>Cerastium caespitosum</i> Gilibert var. <i>glandulosum</i> Wirtgen	ミミナグサ	Th
96.	<i>Dianthus superbus</i> Linnaeus var. <i>longicalycina</i> Williams	カワラナデシコ	H
97.	<i>Malachium aquaticum</i> Fries	ウシハコベ	H
98.	<i>Melandryum firmum</i> Rohrbach	フングロ	Th
99.	<i>Sagina japonica</i> Ohwi	ツメクサ	Th
100.	<i>Silene Armeria</i> Linnaeus	ムシトリナデシコ(野化)	Th
101.	<i>Stellaria media</i> Cyrillus	ハコベ	Th
102.	<i>S. media</i> Cyrillus var. <i>minor</i> Makino	コハコベ	Th
103.	<i>S. uliginosa</i> Murray	ノミノフスマ	Th
	29. <i>Ranunculaceae</i>	キンボウゲ科	
104.	<i>Aconitum japonicum</i> Thunberg var. <i>montanum</i> Nakai	ヤマトリカブト	H
105.	<i>Clematis apiifolia</i> A. P. De Candolle	ボタンヅル	N
106.	<i>C. terniflora</i> A. P. De Candolle	センニンソウ	N
107.	<i>Ranunculus acris</i> Linnaeus var. <i>japonica</i> Maximowicz form. <i>vulgaris</i> Makino	ウマノアシガタ	H
108.	<i>R. Vernyii</i> Franchet et Savatier var. <i>glaber</i> Nakai	キツネノボタン	HH
109.	<i>Semiaquilegia adoxoides</i> Makino	ヒメウツ	H
110.	<i>Thalictrum Thunbergii</i> A. P. De Candolle var. <i>hypoleucum</i> Nakai	アキカラマツ	H
	30. <i>Lardizabalaceae</i>	アケビ科	
111.	<i>Akebia quinata</i> Decaisne	アケビ	N
112.	<i>A. trifoliata</i> Koidzumi	ミツバアケビ	N
113.	<i>A. trifoliata</i> Koidzumi var. <i>clematifolia</i> Nakai	マルバミツバアケビ	N
114.	<i>Stauntonia hexaphylla</i> Decaisne	ムベ	N
	31. <i>Berberidaceae</i>	メギ科	

115.	<i>Berberis Thunbergii</i> A. P. De Candolle var <i>Maxinowiczii</i> Franchet et Savatier	メギ	N
	32. Nandinaceae ナンテン科		
116.	<i>Nandina domestica</i> Thunberg.	ナンテン	N
	33. Menispermaceae ツヅラフデ科		
117.	<i>Cocculus trilobus</i> A. P. De Candolle	カミエビ	N
	34. Magnoliaceae モクレン科		
118.	<i>Kadsura japonica</i> Dunal	ビナンカヅラ	N
119.	<i>Magnolia Kobus</i> A. P. De Candolle	コブシ	M
120.	<i>M. obovata</i> Thunberg	ホオノキ	MM
	35. Lauraceae クスノキ科		
121.	<i>Linder glaucum</i> Blume	ヤマコウバシ	N
122.	<i>Machilus Thunbergii</i> Siebold et Zuccarini	タブノキ	MM
123.	<i>Neolitsea Sieboldii</i> Nakai	シロダモ	M
124.	<i>N. Sieboldii</i> Nakai var. <i>prematura</i> Nakai	ヒメシロダモ	N
	36. Papaveraceae ケン科		
125.	<i>Chelidonium majus</i> Linnaeus var. <i>grandiflorum</i> A. P. De Candolle	クサノオウ	Th
126.	<i>Corydalis incisa</i> Persoon	ムラサキケマン	Th
127.	<i>C. platycarpa</i> Makino	キケマン	Th
	37. Cruciferae アブラナ科		
128.	<i>Arabis glabra</i> Bernhardi	ハタザオ	Th
129.	<i>A. japonica</i> A. Gray var. <i>stenocarpa</i> Nakai	ハマハタザオ	Th
130.	<i>Capsella Bursa-pastoris</i> Medicus	ナヅナ	Th
131.	<i>Cardamine flexuosa</i> Withering	タネツケバナ	H
132.	<i>Dontostemon dentatus</i> Ledebour	ハナハタザオ	H
133.	<i>Rorippa atrovirens</i> Ohwi et Hara form. <i>obtusula</i> Ohwi et Hara	イヌガラシ	H
134.	<i>R. palustris</i> Besser.	スカシタゴボウ	Th
	38. Crassulaceae ベンケイソウ科		
135.	<i>Sedum bulbiferum</i> Makino	コモチマンネングサ	Th
136.	<i>S. kantschaticum</i> Fischer	キリンソウ	H
	39. Saxifragaceae ユキノシタ科		
137.	<i>Astilbe microphylla</i> Knoll	チダケサシ	H
138.	<i>Deutzia crenata</i> Siebold et Zuccarini form. <i>angustifolia</i> Regel	ウツギ	N
139.	<i>Saxifraga stolonifera</i> Meerburgh	ユキノシタ	H
	40. Malaceae ナシ科		
140.	<i>Chaenomeles Maulei</i> Laval	クサボケ	N
141.	<i>Malus Toringo</i> Sieb. Subvar. <i>vulgaris</i> Koidzumi	ズミ	N
142.	<i>Pourthiaea laevis</i> Koidzumi	カマツカ	M
143.	<i>P. villosa</i> Decaisne	オオカマツカ	M

144.	<i>P. Zollingeri</i> Decaisne	ケカマツカ	M
	41. Rosaceae バラ科		
145.	<i>Agrimonia nipponica</i> Koidzumi	ヒメキンミヅヒキ	H
146.	<i>A. pilosa</i> Ledebour var. <i>japonica</i> Nakai	キンミヅヒキ	H
147.	<i>Duchesnea indica</i> Focke	ヤブヘビイチゴ	H
148.	<i>D. Wallichiana</i> Nakai	ヘビイチゴ	H
149.	<i>Kerria japonica</i> A. P. De Candolle	ヤマブキ	N
150.	<i>Potentilla chinensis</i> Seringe	カワラサイコ	H
151.	<i>P. Freyniana</i> Bornmueller	ミツバツチグリ	H
152.	<i>P. Kleiniana</i> Wight et Arnott	オヘビイチゴ	H
153.	<i>Rosa polyantha</i> Siebold et Zuccarini	ノイバラ	N
154.	<i>R. rugosa</i> Thunberg	ハマナス	N
155.	<i>R. Wichuraiana</i> Crepin	テリハノイバラ	N
156.	<i>Rubus coptophyllus</i> A. Gray	モミヂイチゴ	N
157.	<i>R. parvifolius</i> Linnaeus var. <i>triphyllus</i> Nakai	ナワシロイチゴ	N
158.	<i>Sanguisorba carnea</i> Fischer	ワレモコウ	H
	42. Amygdalaceae サクラ科		
159.	<i>Prunus Buergeriana</i> Miquel	イヌザクラ	MM
160.	<i>P. Grayana</i> Maximowicz	ウワミズザクラ	MM
161.	<i>P. serrulata</i> Lindley var. <i>spontanea</i> Makino	ヤマザクラ	MM
162.	<i>P. serrulata</i> Lindley var. <i>pubescens</i> Nakai	ケヤマザクラ	MM
163.	<i>P. yedoensis</i> Matsumura	ソメイヨシノ (植栽)	MM
	43. Leguminosae マメ科		
164.	<i>Aeschynomene indica</i> Linnaeus	クサネム	Th
165.	<i>Albizzia Julibrissin</i> Durazzini var. <i>speciosa</i> Koidzumi	ネムノキ	M
166.	<i>Amphicarpaea trisperma</i> Baker	ヤブマメ	Th
167.	<i>Desmodium racemosum</i> A. P. De Candolle	ススビトハギ	H
168.	<i>Dunfaria villosa</i> Makino	ノアズキ	H
169.	<i>Gleditschia horrida</i> Schneider	サイカチ	M
170.	<i>Indigofera pseudo-tinctoria</i> Matsumura	コマツナギ	CH
171.	<i>Kummerowia striata</i> Schindler	ヤハズソウ	Th
172.	<i>Lathyrus japonicus</i> Willdenow	ハマエンドウ	G
173.	<i>Lespedeza bicolor</i> Turczaninow var. <i>japonica</i> Nakai	ヤマハギ	CH
174.	<i>L. cuneat</i> G. Don	メドハギ	CH
175.	<i>L. intermixta</i> Makino	ツルメドハギ	CH
176.	<i>L. nikkoensis</i> Nakai	ニツコウシラハギ	N
177.	<i>L. pilosa</i> Siebold et Zuccarini	ネコハギ	H
178.	<i>L. tomentosa</i> Siebold	イヌハギ	CH
179.	<i>Lotus corniculatus</i> Linnaeus var. <i>japonicus</i> Regel	ミヤコグサ	H
180.	<i>Maackia amurensis</i> Ruprecht et Maximowicz		

	var. Buergeri Schneider	イヌエンジュ	M
181.	<i>Pueraria Thunbergiana</i> Benth	クズ	M
182.	<i>Rhynchosia acuminatifolia</i> Makino	トキリマメ	H
183.	<i>R. volubilis</i> Leureiro	タンキリマメ	H
184.	<i>Trifolium repens</i> Linnaeus	シロツメクサ	H
185.	<i>Vicia amoena</i> Fischer var. <i>sachalinensis</i> Rr. Schmidt	ツルフヂバカマ	H
186.	<i>V. sativa</i> Linnaeus	カラスノエンドウ	Th
187.	<i>V. tetrasperma</i> Moench	カスマグサ	Th
188.	<i>Wistaria floribunda</i> A. P. De Candolle	フヂ	MM
	44. Geraniaceae フウロソウ科		
189.	<i>Geranium Thunbergii</i> Siebold et Zuccarini	ゲンノショウコ	H
	45. Oxalidaceae カタバミ科		
190.	<i>Xanthoxalis corniculata</i> Small	カタバミ	H
191.	<i>X. corniculata</i> Small var. <i>stropurpurea</i> Moldenke	ウスアカカタバミ	H
192.	<i>X. corniculata</i> Small var. <i>erecta</i> Hatusima et Nakasima	タチカタバミ	H
193.	<i>X. corniculata</i> Small var. <i>rubrifolia</i> Hatushima et Nakasima	アカカタバミ	H
	46. Rutaceae ミカン科		
194.	<i>Fagara mantchurica</i> Honda	イヌザンショウ	N
195.	<i>Orixa japonica</i> Thunberg	コクサギ	N
196.	<i>Skimmia japonica</i> Thunberg	ミヤマシキミ	N
197.	<i>Zanthoxylum piperitum</i> A. P. De Candolle	サンショウ	N
	47. Simarubaceae ニガキ科		
198.	<i>Picrasma ailanthoides</i> Planchon	ニガキ	MM
	48. Meliaceae センダン科		
199.	<i>Melia Azedarach</i> Linnaeus var. <i>japonica</i> Makino	センダン	M
	49. Polygalaceae ヒメハギ科		
200.	<i>Polygala japonica</i> Houttuyu	ヒメハギ	H
	50. Euphorbiaceae トウダイグサ科		
201.	<i>Acalypha australis</i> Linnaeus	エノキグサ	Th
202.	<i>Chamaesyce maculata</i> Small	コニシキソウ	Th
203.	<i>Daphniphyllum gloucescens</i> Blume	ヒメユズリハ	M
204.	<i>D. macropodum</i> Miquel	ユヅリハ	M
205.	<i>Galarhoeus pekinensis</i> Hara	タカトウダイ	M
206.	<i>Mallotus japonicus</i> Mueller. Arg	アカメガンワ	MM
	51. Coriariaceae ドクウツギ科		
207.	<i>Coriaria japonica</i> A. Gray	ドクウツギ	N
	52. Anacardiaceae ウルシ科		
208.	<i>Rhus ambigua</i> Lavallee.	ツタウルシ	MM
209.	<i>R. javanica</i> Linnaeus.	ヌルデ	MM

210.	<i>R. trichocarpa</i> Miquel	ヤマウルシ	M
211.	<i>R. trichocarpa</i> Miquel var. <i>serrata</i> Engler	コバノヤマウルシ	N
212.	<i>R. verniciflus</i> Stokes	ウルシ (植栽)	MM
	53. Aquifoliaceae モチノキ科		
213.	<i>Ilex crenata</i> Thunberg	イヌツゲ	N
214.	<i>I. crenata</i> Thunberg form. <i>Kusnetzoffii</i> Loesner	ヒロハイヌツゲ	N
215.	<i>I. integra</i> Thunberg	モチノキ	MM
216.	<i>I. macropoda</i> Miquel	アオハダ	MM
217.	<i>I. serrata</i> Thunberg var. <i>Sieboldi</i> Loesner	ウメモドキ	N
	54. Celastraceae ニシキギ科		
218.	<i>Celastrus orbiculatus</i> Thunberg	ツルウメモドキ	M
219.	<i>C. strigillosus</i> Nakai	オニツルウメモドキ	M
220.	<i>Euonymus alatus</i> Siebold	ニシキギ	N
221.	<i>E. alatus</i> Siebold var. <i>subtriflorus</i> Franchet et Savatier.	コマユミ	N
222.	<i>E. Fortunei</i> Handel-Mazzett var. <i>radicans</i> Rheder	ツルマサキ	MM
223.	var. <i>angustifolius</i> Nakai	ナガバツルマサキ	MM
224.	<i>E. japonicus</i> Thunberg	マサキ	N
225.	<i>E. japonicus</i> Thunberg var. <i>radicifer</i> Nakai	オウツルマサキ	N
226.	<i>E. Sieboldianus</i> Blume	マユミ	M
	55. Aceraceae カエデ科		
227.	<i>Acer crataegifolium</i> Siebold et Zuccarini	ウリカエデ	M
228.	<i>A. formosum</i> Carriere.	イロハモミヂ	MM
229.	<i>A. ornatum</i> Carrier var. <i>Matsumurae</i> Koidzumi	ヤマモミヂ	MM
	56. Balsaminaceae ツリフネソウ科		
230.	<i>Impatiens Textori</i> Miquel	ツリフネソウ	Th
	57. Rhamnaceae クロウメモドキ科		
231.	<i>Berchemia racemosa</i> Siebold et Zuccarini	クマヤナギ	M
232.	<i>Rhamnus japonica</i> Maximowicz.	クロウメモドキ	N
233.	<i>R. japonica</i> Maximowicz var. <i>decipiens</i> Maximowicz	コバノクロウメモドキ	N
	58. Vitaceae ブドウ科		
234.	<i>Ampelopsis brevipedunculata</i> Trautvetter var. <i>Maximowiczii</i> Reder	ノブドウ	N
235.	<i>Cayratia japonica</i> Merrill	ヤブガラシ	G
236.	<i>Parthenocissus Thunbergii</i> Nakai	ツタ	MM
237.	<i>Vitis flexuosa</i> Thunbergii	サンカクヅル	M
238.	<i>V. Kaempheri</i> K. Koch	ヤマブドウ	M
239.	<i>V. Thunbergii</i> Siebold et Zuccarini	エビヅル	N
	59. Tiliaceae シナノキ科		
240.	<i>Tilia Miqueliana</i> Maximowicz	ボダイジュ (植栽)	MM

	60. Theaceae	ツバキ科	
241.	<i>Camellia japonica</i> Linnaeus var. <i>spontanea</i>		
	Makino	ヤブツバキ	M
242.	<i>Eurya japonica</i> Thunberg var. <i>montana</i> Blume	ヒサカキ	N
243.	<i>Sakakia ochracea</i> Nakai	サカキ	M
244.	<i>Ternstroemia</i> Mokof Nakai	モクコク	M
245.	<i>Thea sinensis</i> Linnaeus var. <i>bohea</i> Szyszylowicz	チャノキ (野化)	N
	61. Guttiferae	オトギリソウ科	
246.	<i>Hypericum erectum</i> Thunberg	オトギリソウ	H
247.	<i>H. laxum</i> Koidzumi	コケオトギリ	Th
	62. Violaceae	スミレ科	
248.	<i>Viola grypceras</i> A. Gray	タチツボスミレ	H
249.	<i>V. mandshurica</i> W. Becker var. <i>ciliata</i> Nakai	スミレ	H
250.	<i>V. semilunaris</i> W. Becker	アギスミレ	H
	63. Stachyuraceae	キブシ科	
251.	<i>Stachyurus praecox</i> Siebold et Zuccarini	キブシ	N
	64. Elaeagnaceae	グミ科	
252.	<i>Elaeagnus crispa</i> Thunberg	アキグミ	N
253.	<i>E. glabra</i> Thunberg	ツルグミ	M
254.	<i>E. longipes</i> A. Gray	ナツグミ	M
255.	<i>E. maritima</i> Koidzumi	アカバグミ	N
256.	<i>E. macrophylla</i> Thunberg	マルバグミ	N
	65. Lythraceae	ミソハギ科	
257.	<i>Lagerstroemia indica</i> Linnaeus	サルスベリ (植栽)	M
258.	<i>Lythrum anceps</i> Makino	ミソハギ	HH
	66. Punicaceae	ザクロ科	
259.	<i>Punica Granatum</i> Linnaeus	ザクロ (植栽)	M
	67. Oenotheraceae	アカバナ科	
260.	<i>Circaea mollis</i> Siebold et Zuccarini	ミヅタマソウ	H
261.	<i>Ludwigia prostrata</i> Roxburgh	チャウジタデ	Th
262.	<i>Oenothera biennis</i> Linnaeus	メマツヨイグサ	Th
263.	<i>O. Lamarkiana</i> Sprengel	オウマツヨイグサ	Th
264.	<i>O. odorata</i> Jacquin	マツヨイグサ	H
	68. Haloragaceae	アリノトウグサ科	
265.	<i>Halorrhagis micrantha</i> R. Brown	アリノトウグサ	H
	69. Araliaceae	ウコギ科	
266.	<i>Acanthopanax spinosum</i> Miquel	ウコギ	N
267.	<i>Aralia elata</i> Seemann	タラノキ	N
268.	<i>A. elata</i> Seemann var. <i>canescens</i> Nakai	メダラ	N
269.	<i>Hedera Tobleri</i> Nakai	キヅタ	M
	70. Umbelliferae	セリ科	
270.	<i>Angelica decursiva</i> Franchet et Savatier	ノダケ	H

271.	<i>Hydrocotyle sibthorpioides</i> Lamark	チドメグサ	H
272.	<i>Glehnia littoralis</i> Rr. Schmidt	ハマボウフウ	H
273.	<i>Oenanthe javanica</i> A. P. De Candolle	セリ	H
274.	<i>Osmorhiza aristata</i> Makino et Yabe	ヤブニンジン	H
275.	<i>Pimpinella calycina</i> Maximowicz	ダケゼリ	H
276.	<i>Sium Ninsi</i> Linnaeus	ムカゴニンジン	HH
277.	<i>Torilis japonica</i> A. P. De Candolle	ヤブジラミ	Th
	71. Cornaceae ミヅキ科		
278.	<i>Aucuba japonica</i> Thunberg	アオキ	N
279.	<i>Aucuba japonica</i> Thunberg var. <i>longifolia</i> Nakai	ナガバアオキ	N
280.	<i>Cornus brachypoda</i> C. A. Meyer	クマノミヅキ	M

MATACHLAMYDEAE 後世花被植物亞綱

	72. Pirolaceae イチヤクソウ科		
281.	<i>Chimaphila japonica</i> Miquel	ウメガサソウ	H
282.	<i>C. umbellata</i> W. Barton	オオウメガサソウ	H
283.	<i>Pyrola japonica</i> Klenze et Alefeld	イチヤクソウ	H
	73. Ericaceae ツツジ科		
284.	<i>Lyonia Neziki</i> Nakai et Hara	ネヂキ	M
285.	<i>Rhodoendron Kaempferi</i> Planchon	ヤマツツジ	N
286.	<i>R. japonicum</i> Suringar	レンゲツツジ	N
287.	<i>Vaccinium Oldhami</i> Miquel	ナツハゼ	N
	74. Myrsinaceae ヤブコウジ科		
288.	<i>Bladhia japonica</i> Thunberg	ヤブコウジ	N
	75. Primulaceae サクラソウ科		
289.	<i>Lysimachia barystachys</i> Bunge	ノヂトラノオ	H
290.	<i>L. clethroides</i> Duby	オカトラノオ	H
291.	<i>Lysimachia japonica</i> Thunb. var. <i>subaeensis</i> F. Maekawa	コナスビ	H
292.	<i>L. leucantha</i> Miquel	サワトラノオ	HH
	76. Ebenaceae カキノキ科		
293.	<i>Diospyros Kaki</i> Thunberg var. <i>silvestris</i> Makino	ヤマガキ	M
	77. Styracaceae エゴノキ科		
294.	<i>Styrax japonica</i> Siebold et Zuccarini	エゴノキ	M
	78. Oleaceae モクセイ科		
295.	<i>Fraxinus Sieboldiana</i> Blume var. <i>angustata</i> Blume	マルバアオダモ	M
296.	<i>Fraxinus Sieboldiana</i> Blume var. <i>serrata</i> Nakai	アオダモ	M
297.	<i>Ligustrum Hisauchii</i> Makino	オカイボタ	N
298.	<i>L. obtusifolium</i> Siebold et Zuccarini	イボタノキ	N
299.	<i>L. ovalifolium</i> Hasskarl	オウバイボタ	N

300.	<i>Osmanthus ilicifolius</i> Carriere 79. Gentianaceae リンドウ科	ヒイラギ	N
301.	<i>Gentiana scabra</i> Bunge var. <i>orientalis</i> Hara	リンドウ	H
302.	<i>G. Zollingerii</i> Fawcett	フデリンドウ	Th
303.	<i>Swertia japonica</i> Makino	センブリ	Th
304.	<i>Tripterospermum japonicum</i> Maximowicz 80. Apocynaceae キョウチクトウ科	ツルリンドウ	H
305.	<i>Trachelospermum asiaticum</i> Nakai var. <i>intermedium</i> Nakai 81. Asclepiadaceae カガイモ科	テイカカヅラ	MM
306.	<i>Cynanchum caudatum</i> Maxim.	イケマ	H
307.	<i>C. japonicum</i> Morren et Decaisne	イヨカヅラ	H
308.	<i>C. Wilfordi</i> Hemsley	コイケマ	G
309.	<i>Metaplexis japonica</i> Makino	カガイモ	H
310.	<i>C. macranthum</i> Nakai 82. Convolvulaceae ヒルガオ科	シロバナカモメヅル	H
311.	<i>Calystegia hederacea</i> Wallich	コヒルガオ	G
312.	<i>C. japonica</i> Choisy form. <i>vulgaris</i> Hara	ヒルガオ	G
313.	<i>Calystegia Soldanella</i> Roemer et Schultes 83. Boraginaceae ムラサキ科	ハマヒルガオ	G
314.	<i>Bothriospermum tenellum</i> Fischer et Meyer	ハナイバナ	Th
315.	<i>Lithospermum Zollingeri</i> A. DC.	ホタルカヅラ	H
316.	<i>Trigonotis peduncularis</i> Bentham 84. Verbenaceae クマツヅラ科	タビラコ	Th
317.	<i>Callicarpa japonica</i> Thunberg	ムラサキシキブ	N
318.	<i>C. mollis</i> Siebold et Zuccarini	ヤブムラサキ	N
319.	<i>Clerodendrum trichotomum</i> Thunberg	クサギ	M
320.	<i>Vitex rotundifolia</i> L. 85. Labiatae シソ科	ハマゴウ	N
321.	<i>Clinopodium confine</i> O. Kuntze	トウバナ	H
322.	<i>Glechoma hederacea</i> Linnaeus var. <i>grandis</i> Kudo	カキドウシ	H
323.	<i>Isodon inflexus</i> Kudo	ヤマハクカ	H
324.	<i>Lamium amplexicaule</i> Linnaeus	ホトケノザ	Th
325.	<i>Leonurus sibiricus</i> Linnaeus	メハジキ	Th
326.	<i>Lycopus coreanus</i> Léveillé var. <i>ramosissimus</i> Nakai	サルグヒコ	HH
327.	<i>L. Maackianus</i> Makino	ヒメシロネ	HH
328.	<i>Orthodon grosseserratum</i> Kudo	ヒメジソ	Th
329.	<i>Prunella vulgaris</i> Linnaeus form. <i>asiatica</i> Hara	ウツボグサ	H
330.	<i>Salvia japonica</i> Thunberg	アキノタムラソウ	H
331.	<i>S. nipponica</i> Miquel	アキギリ	H

332.	<i>Scutellaria strigillosa</i> Hemsley	ナミキソウ	H
	86. Solanaceae ナス科		
333.	<i>Lycium chinense</i> Miller	クコ	N
334.	<i>Solanum lyratum</i> Thunberg	ヒヨドリジョウゴ	H
335.	<i>S. nigrum</i> L.	イヌホオヅキ	Th
336.	<i>Tubocapsicum anomalum</i> Makino	ハダカホオヅキ	H
	87. Scrophulariaceae ゴマノハグサ科		
337.	<i>Linaria japonica</i> Miquel	ウンラン	H
338.	<i>Lindernia angustifolia</i> Wettstein	アゼトウガラシ	Th
339.	<i>Mazus japonicus</i> O. Kuntze	トキワハゼ	Th
340.	<i>Phtheirospermum japonicum</i> Kanitz	コンオガマ	Th
341.	<i>Veronica arvensis</i> Linnaeus	タチイヌノフグリ	Th
342.	<i>V. persica</i> Poiret	オオイヌノフグリ	Th
	88. Acanthaceae キツネノマゴ科		
343.	<i>Justicia procumbens</i> Linnaeus form. <i>japonica</i> Hara	キツネノマゴ	Th
	89. Phrymaceae ハエドクソウ科		
344.	<i>Phryma leptostachya</i> Linnaeus	ハエドクソウ	H
	90. Plantaginaceae オオバコ科		
345.	<i>Plantago asiatica</i> Linnaeus var. <i>densiuscula</i> Pilger	オオバコ	H
346.	<i>P. japonica</i> Franchet et Savatier	トウオオバコ	H
	91. Rubiaceae アカネ科		
347.	<i>Galium dahuricum</i> Turczaninow var. <i>tokyoense</i> Cufodontis	ハナムグラ	H
348.	<i>G. spurium</i> L. var. <i>echinospermon</i> Hayek	ヤエムグラ	H
349.	<i>G. trachyspermum</i> A. Gray.	ヨツバムグラ	H
350.	<i>G. verum</i> Linnaeus var. <i>nikkoense</i> Nakai	カワラマツバ	H
351.	<i>Hedyotis diffusa</i> Willdenow	フタバムグラ	Th
352.	<i>H. Lindleyana</i> Hooker et Wight var. <i>hirsuta</i> Hara	ハンカグサ	Th
353.	<i>Paederia scandens</i> Merrill var. <i>Mairei</i> Hara	ヘクソカヅラ	H
354.	<i>Paederia scandens</i> Merrill var. <i>maritima</i> Hara	ハマサオトメカヅラ	H
355.	<i>Rubia Akane</i> Nakai	アカネ	H
	92. Caprifoliaceae スイカヅラ科		
356.	<i>Lonicera gracilipes</i> Miquel var. <i>gracilipes</i>	ヤマウグイスカグラ	N
357.	<i>Lonicera gracilipes</i> Miquel var. <i>glabra</i> Miquel	ウグイスカグラ	N
358.	<i>L. japonica</i> Thunberg var. <i>japonica</i>	スイカヅラ	N
359.	<i>L. tenuipes</i> Nakai var. <i>tenuipes</i>	ミヤマウグイスカグラ	N
360.	<i>Sambucus chinensis</i> Lindley	ソクヅ	H
361.	<i>S. Sieboldiana</i> Blume	ニワトコ	M
362.	<i>Viburnum dilatatum</i> Thunberg form. <i>dilatatum</i>	アラゲガマズミ	N

363.	<i>V. dilatatum</i> Thunberg form. <i>pilosulum</i> Nakai	ガマズミ	N
364.	<i>Weigela coraeensis</i> Thunberg	ハコネウツギ	M
	93. Valerianaceae オミナエシ科		
365.	<i>Patrinia scabiosaefolia</i> Fischer et Treviran	オミナエシ	H
366.	<i>P. villosa</i> Jussieu et DC.	オトコヘシ	H
	94. Dipsacaceae マツムシソウ科		
367.	<i>Scabiosa japonica</i> Miquel var. <i>japonica</i> .	マツムシソウ	Th
	95. Cucurbitaceae ウリ科		
368.	<i>Gynostemma pentaphyllum</i> Makino	アマチヤヅル	G
369.	<i>Melothria japonica</i> Maximowicz et Cogniaux	スズメウリ	Th
370.	<i>Trichosanthes cucumeroides</i> Maximowicz	カラスウリ	G
	96. Campanulaceae キキョウ科		
371.	<i>Adenophora triphylla</i> A. DC. var. <i>japonica</i> Hara	ツリガネニンジン	H
372.	<i>Campanula punctata</i> Lamarck var. <i>punctata</i> .	ホタルブクロ	H
373.	<i>Lobelia chinensis</i> Loureiro.	ミゾカクシ	HH
	97. Compositae キク科		
374.	<i>Ainsliaea apiculata</i> Schultz-Bipontinus	キツコウハグマ	H
375.	<i>Anaphalis margaritacea</i> Bentham et Hooker var. <i>angustior</i> Nakai	ヤマハハコ	H
376.	<i>Anaphalis margaritacea</i> Bentham et Hooker subsp. <i>yedoensis</i> Kitamura	カワラハハコ	H
377.	<i>Artemisia apiacea</i> Hance	カワラニンジン	Th
378.	<i>A. capillaris</i> Thunberg	カワラヨモギ	H
379.	<i>A. Fukudo</i> Makino	ハマヨモギ	Th
380.	<i>A. japonica</i> Thunberg	オトコヨモギ	H
381.	<i>Artemisia japonica</i> Thunberg form. <i>resedifolia</i> Takeda	ホソバノオトコヨモギ	H
382.	<i>A. Keiskeana</i> Miquel	イヌヨモギ	H
383.	<i>A. princeps</i> Pampanini	カズザキヨモギ	H
384.	<i>A. Stelleriana</i> Besser	シロヨモギ	H
385.	<i>Aster ageratoides</i> Turczaninow subsp. <i>ovatus</i> Kitamura	ノコンギク	H
386.	<i>A. Iinumae</i> Kitamura	ユウガギク	H
387.	<i>A. leiophyllus</i> Franch. et Sav.	ヤマシロギク	H
388.	<i>A. rugulosus</i> Maxim	サワシロギク	H
389.	<i>A. scaber</i> Thunberg	シラヤマギク	H
390.	<i>A. semiamplexicaulis</i> Makino	イナカギク	H
391.	<i>A. Yomena</i> Honda var. <i>dentatus</i> Hara	カントウヨメナ	H
392.	<i>Atractylodes japonica</i> Koidzumi et Kitamura	オケラ	H
393.	<i>Bidens biternata</i> Merrill et Sherff	センダングサ	Th
394.	<i>B. frondosa</i> Linnaeus	アメリカセンダングサ	Th

395.	<i>Carpesium abrotanoides</i> L.	ヤブタバコ	Th
396.	<i>C. cernuum</i> L.	コヤブタバコ	Th
397.	<i>C. divaricatum</i> Siebold et Zuccarini	ガンクビソウ	Th
398.	<i>C. glossophyllum</i> Maximowicz	サジガンクビソウ	H
399.	<i>Centipeda minima</i> Al.	トキンソウ	Th
400.	<i>Chrysanthemum boreale</i> Makino	アワコガネギク	H
401.	<i>C. Makino</i> Matsumura	リウノウギク	H
402.	<i>Cirsium comosum</i> Matsumura var. <i>incomptum</i> Kitamura	タイアザミ	H
403.	<i>C. dipsacolepis</i> Matsumura	モリアザミ	H
404.	<i>C. japonicum</i> DC.	ノアザミ	H
405.	<i>C. Sieboldi</i> Miquel	マアザミ	H
406.	<i>Eclipta prostrata</i> L.	タカサブロウ	Th
407.	<i>Erechtites hieracifolia</i> Rafineoque	ダンドボロギク	Th
408.	<i>Erigeron annuus</i> Persoon	ヒメヂョオン	Th
409.	<i>E. bonariensis</i> L.	アレチノギク	Th
410.	<i>E. canadensis</i> L.	ヒメムカシヨモギ	Th
411.	<i>E. Flahaultianus</i> Thellung	オオアレチノギク	Th
412.	<i>E. pseudo-annuus</i> Makino	ヤナギバヒメヂョオン	Th
413.	<i>Eupatorium chinense</i> L. var. <i>simplicifolium</i> Kitamura	ヒョドリバナ	H
414.	<i>Eupatorium Lindleyanum</i> DC.	サワヒョドリ	H
415.	<i>Gnaphalium affine</i> D. Don.	ハハコグサ	Th
416.	<i>G. japonicum</i> Thunberg	チチコグサ	H
417.	<i>Hieracium umbellatum</i> L. var. <i>japonicum</i> Hara	ヤナギタンポポ	H
418.	<i>Inula salicina</i> L.	カセンソウ	H
419.	<i>Ixeris dentata</i> Nakai	ニガナ	H
420.	<i>I. japonica</i> Nakai	ヂシバリ	H
421.	<i>I. repens</i> A. Gray	ハマニガナ	G
422.	<i>Lactuca indica</i> L. var. <i>laciniata</i> Hara	アキノノゲシ	Th
423.	<i>Lactuca indica</i> L. form. <i>indivisa</i> Hara	ホソバアキノノゲシ	Th
424.	<i>Leibnitzia Anandria</i> Naki	センボンヤリ	H
425.	<i>Paraixeris denticulata</i> Nakai	ヤクシソウ	Th
426.	<i>Pertya scandens</i> Schultz-Bipontinus	コウヤボウキ	CH
427.	<i>Petasites japonicus</i> Maximowicz	フキ	H
428.	<i>Picris hieracioides</i> L. subsp. <i>japonica</i> Krylov	コウゾリナ	Th
429.	<i>Prenanthes Tanakae</i> Koidzumi	オオニガナ	H
430.	<i>Saussurea ussuriensis</i> Maximowicz	キクアザミ	H
431.	<i>Serratula coronata</i> L. subsp. <i>insularis</i> Kitamura	タムラソウ	H
432.	<i>Siegesbeckia glabrescens</i> Makino	コメナモミ	Th
433.	<i>Siegesbeckia pubescens</i> Makino	メナモミ	Th
434.	<i>Solidago Virgaurea</i> L. subsp. <i>asiatica</i> Kitamura	アキノキリンソウ	H

435.	<i>Sonchus brachyotis</i> DC.	ハチヂョウナ	H
436.	<i>S. oleraceus</i> L.	ノゲシ	Th
437.	<i>Taraxacum platycarpum</i> Dahlstedt	カントウタンポポ	H
438.	<i>Wedelia prostrata</i> Hemsley	ハマグルマ	H
439.	<i>Xanthium strumarium</i> L. var. <i>japonicum</i> Hara	オナモミ	Th
440.	<i>Youngia japonica</i> DC.	オニタビラコ	Th
	98. Alismataceae オモダカ科		
441.	<i>Alisma canaliculatum</i> A. Braun et Bouche	ヘラオモダカ	HH
	99. Bambusaceae タケ科		
442.	<i>Pleioblastus chino</i> Makino	アヅマネザサ	N
443.	<i>P. Simoni</i> Nakai	メダケ (野化)	N
444.	<i>Pseudosasa japonica</i> Makino	ヤダケ	N
445.	<i>Sasa Veitchii</i> Rehder	クマザサ (野化)	N
446.	<i>Shibataea kumasaca</i> Nakai	オカメザサ (野化)	N
	100. Gramineae イネ科		
447.	<i>Agropyron ciliae</i> Franchet	アオカモジグサ	Th
448.	<i>A. japonense</i> Honda	タチカモジグサ	Th
449.	<i>A. semicostatum</i> Nees	カモジグサ	Th
450.	<i>Agrostis Matsumurae</i> Hackel	スカボ	Th
451.	<i>Alopecurus geniculatus</i> Linnaeus	スズメノテツボウ	Th
452.	<i>Arthraxon hispidus</i> Makino	シロコブナグサ	Th
453.	<i>Arthraxon hispidus</i> Makino var. <i>brevisetus</i> Hara	コブナグサ	Th
454.	<i>Arundinella hirta</i> Tanaka var. <i>ciliata</i> Koidzumi	トグシバ	H
455.	<i>Brachypodium miserum</i> Koidzumi	ヤマカモジグサ	H
456.	<i>Bromus remotiflorus</i> Ohwi	キツネガヤ	H
457.	<i>Calamagrostis arundinacea</i> Roth var. <i>brachytricha</i> Hackel	サイトウガヤ	H
458.	<i>Cleistogenes Hackeli</i> Honda	チヨウセンガリヤス	H
459.	<i>Cymbopogon Goeringii</i> Honda	オガルカヤ	H
460.	<i>Digitaria Ischaemum</i> Muehlenberg	アキメイジハ	Th
461.	<i>D. sanguinalis</i> Scopoli var. <i>ciliaris</i> Doell	メイジハ	Th
462.	<i>Eccoilopus cotulifer</i> A. Camus	アブラスキ	H
463.	<i>Echinochloa crusgall</i> Beauvois subsp. <i>submutica</i> Honda	ノビエ	Th
464.	<i>Eleusine indica</i> Gaertner	オイジハ	Th
465.	<i>Elymus mollis</i> Trinius	ハマニンニク	H
466.	<i>Eragrostis ferruginea</i> Beauvois	カゼクサ	H
467.	<i>E. multicaulis</i> Steudel	ニワホコリ	Th
468.	<i>Festuca Myuros</i> Linnaeus	ナギナタガヤ	Th
469.	<i>F. ovina</i> Linnaeus	ウシノケグサ	H
470.	<i>Glyceria tonglensis</i> Clarke var. <i>honshuana</i> L. Kelso	ドヂョウツナギ	HH

471.	<i>Hemarthria japonica</i> Roshevitz	ウシノシツペイ	H
472.	<i>Imperata cylindrica</i> Beauveis var. <i>Koenigii</i> Durand et Schinz	チガヤ	G
473.	<i>Ischaemum antheptoides</i> Miquel var. <i>eristachyum</i> Honda	ケカモノハン	H
474.	<i>Koeleria gracilis</i> Persoon	ミノボロ	H
475.	<i>Leersia Sayanuka</i> Ohwi	サヤスカグサ	HH
476.	<i>Microstegium nudum</i> A. Camus	ササガヤ	H
477.	<i>Miscanthus sinensis</i> Anderson	スキ	H
478.	<i>Muehlenbergia japonica</i> Steudel	ネズミガヤ	H
479.	<i>Oplismenus undulatifolius</i> Roemer et Schultes	チヂミザサ	H
480.	<i>Oplismenus undulatifolius</i> Roemer et Schultes var. <i>inierophyllus</i> Ohwi	チャボチヂミザサ	H
481.	<i>Panicum pacificum</i> Tuyama	スカキビ	Th
482.	<i>Paspalum Thunbergii</i> Kunth	スズメノヒエ	H
483.	<i>Pennisetum alopecuroides</i> Sprengel	チカラシバ	H
484.	<i>Phalaris arundinacea</i> Linnaeus	クサヨシ	H
485.	<i>Phragmites longivalvis</i> Steudel	ヨシ	HH
486.	<i>Poa acroleuca</i> Steudel	ミゾイチゴツナギ	Th
487.	<i>Poa acroleuca</i> Steudel var. <i>submoniliformis</i> Makino	タマイチゴツナギ	Th
488.	<i>Poa annua</i> Linnaeus	スズメノカタビラ	Th
489.	<i>Setaria autumnalis</i> Ohwi	アキノエノコログサ	Th
490.	<i>S. lutescens</i> Hubbard	キンエノコロ	Th
491.	<i>S. viridis</i> Beauvois	エノコログサ	Th
492.	<i>S. viridis</i> Beauvois. var. <i>pachystachys</i> Makino et Nemoto	ハマエノコロ	Th
493.	<i>S. viridis</i> Beauvois var. <i>purpurascens</i> Maximowicz	ムラサキエノコロ	Th
394.	<i>Sporoborus elongatus</i> R. Brown	ネズミノオ	H
495.	<i>Themeda japonica</i> Tanaka	メガルカヤ	H
496.	<i>Trisetum bifidum</i> Ohwi	カニツリグサ	H
497.	<i>Zoysia japonica</i> Steudel	シバ	H
498.	<i>Z. macrostachya</i> Franchet et Savatier	オニシバ	H
	101. Cyperaceae . カヤツリグサ科		
499.	<i>Bulbostylis barbata</i> Kunth	ハタガヤ	Th
500.	<i>Carex alterniflora</i> Franch var. <i>Nakiri</i> Ohwi	ナキリスゲ	H
501.	<i>C. arenicola</i> Fr. Schmidt	クロカワズスゲ	H
502.	<i>C. Doniana</i> Sprengel	シラスゲ	H
503.	<i>C. fibrillosa</i> Franchet et Savatier	ハマアオスゲ	H
504.	<i>C. gibba</i> Wahlenberg	マスクサ	H
505.	<i>C. Kobomugi</i> Ohwi	コウボウムギ	G

506.	<i>C. leucochlora</i> Bunge	アオスゲ	H
507.	<i>C. pumila</i> Thunberg	コウボウシバ	G
508.	<i>Cyperus hakonensis</i> Franchet et Savatier	ヒナガヤツリ	Th
509.	<i>C. compressus</i> Linnaeus	クグガヤツリ	Th
510.	<i>C. Haspan</i> Linnaeus	コアゼガヤツリ	H
511.	<i>C. Iria</i> Linnaeus	コゴメガヤツリ	Th
512.	<i>C. microiria</i> Steudel	カヤツリグサ	Th
513.	<i>C. orthostachyus</i> Franchet et Savatier var. <i>robustus</i> Hara	ウシグク	Th
514.	<i>C. rotundus</i> Linnaeus	ハマスゲ	G
515.	<i>Fimbristylis miliacea</i> Vahl	ヒデリコ	Th
516.	<i>F. sericea</i> R. Brown	ビロウドテンツキ	H
517.	<i>F. subbispicata</i> Nees et Meyen	ヤマイ	HH
518.	<i>Kyllingia brevifolia</i> Rottboell var. <i>leiolepis</i> Hara	ヒメクグ	H
519.	<i>Pycnus sanguinolentus</i> Nees	カワラスガナ	Th
	102. <i>Palmae</i> ヤシ科		
520.	<i>Trachycarpus excelsus</i> Wendland	シュロ (野化)	M
	103. <i>Araceae</i> サトイモ科		
521.	<i>Acorus asiaticus</i> Nakai	ショウブ	HH
522.	<i>A. gramineus</i> Solander	セキシヨウ	HH
523.	<i>Pinellia ternata</i> Breitenbach var. <i>viridis</i> Makino	カラスビシヤク	G
	104. <i>Commelinaceae</i> ツユクサ科		
524.	<i>Aneilema Keisak</i> Hasskarl	イボクサ	Th
525.	<i>Commelina communis</i> Linnaeus	ツユクサ	Th
	105. <i>Pontederiaceae</i> ミズアオイ科		
526.	<i>Monochoria Korsakowii</i> Regel et Maack	ミズアオイ	Th
	106. <i>Juncaceae</i> イグサ科		
527.	<i>Juncus decipiens</i> Nakai	イ	HH
528.	<i>J. Fauriensis</i> Buchenau	ホソバノコウガイゼキシヨウ	HH
529.	<i>J. Kramerii</i> Franchet et Savatier	タチコウガイゼキシヨウ	HH
530.	<i>J. latior</i> Satake	ヒロハノコモチゼキシヨウ	HH
531.	<i>Luzula capitata</i> Nakai	スズメノヤリ	H
	107. <i>Liliaceae</i> ユリ科		
532.	<i>Allium nipponicum</i> Franch et Savatier	ノビル	G
533.	<i>Disporum sessile</i> D. Don	ホウチャクソウ	G
534.	<i>D. smilacinum</i> A. Gray	チゴユリ	G
535.	<i>Hemerocallis disticha</i> Donn	ノカンゾウ	H
536.	<i>H. disticha</i> Donn var. <i>kwanso</i> Nakai	ヤブカンゾウ	H
537.	<i>Hosta longissima</i> Honda var. <i>brevifolia</i> F. Maekawa	ミヅギボウシ	HH
538.	<i>Lilium auratum</i> Lindley	ヤマユリ	G
539.	<i>L. maculatum</i> Thunberg var. <i>elegans</i> Koidzumi	スカシユリ	G

540.	<i>Liriope minor</i> Makino	ヒメヤブラン	H
541.	<i>L. muscari</i> Bailey var. <i>communis</i> Nakai	ヤブラン	H
542.	<i>Ophiopogon japonicus</i> Ker-Gawler	ジャノヒゲ	H
543.	<i>O. planiscapus</i> Nakai	オウバジヤノヒゲ	H
544.	<i>Polygonatum humile</i> Fischer	ヒメイズイ	G
545.	<i>Scilla scilloides</i> Druce	ツルボ	G
546.	<i>Smilax China</i> Linnaeus	サルトリイバラ	M
547.	<i>S. nipponica</i> Miquel	シオデ	G
108.	Amaryllidaceae ヒガンバナ科		
548.	<i>Lycoris radiata</i> Herbert	ヒガンバナ	G
109.	Dioscoreaceae ヤマノイモ科		
549.	<i>Dioscorea japonica</i> Thunberg	ヤマノイモ	G
550.	<i>D. Tokoro</i> Makino	オニドコロ	G
110.	Iridaceae アヤメ科		
551.	<i>Belamcanda chinensis</i> Lemn	ヒオウギ	H
111.	Zingiberaceae ショウガ科		
552.	<i>Zingiber Mioga</i> Roscoe	ミョウガ	G
112.	Orchidaceae ラン科		
553.	<i>Cephalanthera falcata</i> Lindley	キンラン	G
554.	<i>C. longibracteata</i> Blume	ササバギンラン	G
555.	<i>Cymbidium virescens</i> Lindley	シユンラン	H
556.	<i>Epipactis Sayekiana</i> Makino	ハマカキラン	G
557.	<i>Gastrochilus matsuran</i> Schlechter	ペニカヤラン	E
558.	<i>Goodyera Schlechtendaliana</i> Reichenbach, f.	ミヤマウヅラ	G
559.	<i>Oberonia japonica</i> Makino var. <i>aurantiaca</i> Makino	ヨウラクラン	E
560.	<i>Sarcochilus japonicus</i> Miquel	カヤラン	E
561.	<i>Spiranthes amoena</i> Sprengel	ネデバナ	G

附 録

Usnea japonica Wain. フクレサルオガセ

B. 目兼国有林植物目録

PTERIDOPHYTA 羊歯植物門

1. Ophioglossaceae ハナワラビ科
 1. *Botrychium ternatum* Swartz フユノハナワラビ G
 2. *B. strictum* Underwood ナガボノナツノハナワラビ G
 3. *B. virginianum* Swartz ナツノハナワラビ G
2. Hymenophyllaceae コケシノブ科
 4. *Hymenophyllum barbatum* Miquel コウヤコケシノブ E
3. Polypodiaceae ウラボシ科

5. <i>Adiantum pedatum</i> Linnaeus	クジャクシダ	H
6. <i>Asplenium incisum</i> Thunberg	トラノオシダ	H
7. <i>Athyrium multifidum</i> Rosenstock var. <i>deltoideum</i> Nakai	サトメシダ	H
8. <i>A. niponicum</i> Hance	イヌワラビ	H
9. <i>A. niponicum</i> Hance var. <i>metallicum</i> Makino	ニシキシダ	H
10. <i>A. pycnosorum</i> Christ	ハクモウイノデ	H
11. <i>A. rubripes</i> Komarov	コウライメシダ	H
12. <i>A. Vidalii</i> Nakai	ヤマイヌワラビ	H
13. <i>A. yokoscense</i> Christ	ヘビノネコザ	H
14. <i>Coptidipteris Wilfordii</i> Nakai et Momose	オウレンシダ	H
15. <i>Cornopteris decurrenti-alata</i> Nakai	シケチシダ	H
16. <i>Cyrtomium Fortunei</i> J. Smith	ヤブソテツ	H
17. <i>Davallia Mariesii</i> Moore	シノブ	E
18. <i>Diplazium dimorphophyllum</i> Koidzumi	セイタカシケシダ	H
19. <i>D. grammitoides</i> Presl	ホソバシケシダ	H
20. <i>D. oshimense</i> H. Ito	シケシダ	H
21. <i>D. squamigerum</i> Christ	キヨタキシダ	H
22. <i>Dryopteris Bisetiana</i> C. Christensen	オウイタチシダ	H
23. <i>D. crassirhizoma</i> Nakai	オシダ	H
24. <i>D. erythrosora</i> O. Kuntze	ベニシダ	H
25. <i>D. hondoensis</i> Koidzumi	オウベニシダ	H
26. <i>D. lacera</i> O. Kuntze	クマワラビ	H
27. <i>D. monticola</i> C. Christensen	ミヤマベニシダ	H
28. <i>D. remotissima</i> Koidzumi	ミヤマイタチシダ	H
29. <i>D. uniformis</i> Makino	オクマワラビ	H
30. <i>D. varia</i> O. Kuntze	イタチシダ	H
31. <i>Fuziifilix pilosella</i> Nakai et Momose	イヌシダ	H
32. <i>Lemmaphyllum microphyllum</i> Presl	マメヅタ	E
33. <i>Lepisorus Onoei</i> Ching	ヒメノキシノブ	E
34. <i>L. Thunbergianus</i> Ching	ノキシノブ	E
35. <i>L. ussuriensis</i> Ching	ミヤマノキシノブ	E
36. <i>Leptogramma totta</i> T. Smith	ミゾシダ	H
37. <i>Matteuccia Struthiopteris</i> Todaro	クサソテツ	H
38. <i>Neoniphopsis linearifolia</i> Nakai	ビロウドシダ	E
39. <i>Notogramme japonica</i> Presl	イワガネソウ	H
40. <i>Onoclea sensibilis</i> Linnaeus	コウヤワラビ	H
41. <i>Onychium japonicum</i> Kunze	タチシノブ	H
42. <i>Pentarhizidium japonicum</i> Hayata	イヌガンソク	H
43. <i>Phegopteris decursive-pinnata</i> Fée	ゲジゲジシダ	H
44. <i>Polystichum japonicum</i> Diels	イノデ	H
45. <i>P. retroso-paleaceum</i> Tagawa	サカゲイノデ	H

- | | | | |
|-----|---|-----------|----|
| 46. | <i>P. retroso-paleaceum</i> Tagawa var. <i>ovato-paleaceum</i> Tagawa | ツヤナシイノデ | H |
| 47. | <i>P. tripterum</i> Presl | ジウモンジンダ | H |
| 48. | <i>Pteridium aquilinum</i> Kuhn var. <i>japonicum</i> Nakai | ワラビ | G |
| 49. | <i>Pteris multifida</i> Poiret | イノモトソウ | H |
| 50. | <i>Rumohra Miqueliana</i> Ching form. <i>narawensis</i>
H. Ito | ナライシダ | H |
| 51. | <i>Rumohra Standishii</i> Ching | リヨウメンシダ | H |
| 52. | <i>Spicantopsis nipponica</i> Nakai var. <i>japonica</i> Nakai | シンガンシラ | H |
| 53. | <i>Thelypteris japonica</i> Ching | ハリガネワラビ | H |
| 54. | <i>T. laxa</i> Ching | ヤワランシダ | H |
| 55. | <i>T. palustris</i> Schott Var. <i>pubescens</i> Fernald | ヒメシダ | H |
| 56. | <i>Woodwardia orientalis</i> Swartz | コモチシダ | H |
| | 4. <i>Lygodiaceae</i> カニクサ科 | | |
| 57. | <i>Lygodium japonicum</i> Swartz | カニクサ | G |
| | 5. <i>Osmundaceae</i> ゼンマイ科 | | |
| 58. | <i>Osmunda cinnamomea</i> Linnaeus | ヤマドリゼンマイ | H |
| 59. | <i>O. japonica</i> Thunberg | ゼンマイ | G |
| | 6. <i>Equisetaceae</i> トクサ科 | | |
| 60. | <i>Equisetum arvense</i> Linnaeus | スギナ | G |
| | 7. <i>Lycopodiaceae</i> ヒカゲノカヅラ科 | | |
| 61. | <i>Lycopodium clavatum</i> Linnaeus var. <i>nipponicum</i>
Nakai | ヒカゲノカヅラ | H |
| 62. | <i>L. obscurum</i> Linnaeus | マンネンスギ | H |
| 63. | <i>L. serratum</i> Thunberg var. <i>javanicum</i> Makino | トウゲシバ | CH |
| 64. | <i>L. serratum</i> Thunberg var. <i>Thunbergii</i> Makino | ホソバノトウゲシバ | CH |

SPERMATOPHYTA 種子植物門

GYMNOSPERME 裸子植物門

- | | | | |
|-----|---|-----------|----|
| | 8. <i>Ginkgoaceae</i> イチョウ科 | | |
| 65. | <i>Ginkgo biloba</i> Linnaeus | イチョウ (植栽) | MM |
| | 9. <i>Taxaceae</i> イチイ科 | | |
| 66. | <i>Torreya nucifera</i> Siebold et Zuccarini | カヤ | MM |
| | 10. <i>Cephalotaxaceae</i> イヌガヤ科 | | |
| 67. | <i>Cephalotaxus drupacea</i> Siebold et Zuccarini | イヌガヤ | M |
| | 11. <i>Abietaceae</i> モミ科 | | |
| 68. | <i>Abies firma</i> Siebold et Zuccarini | モミ | MM |
| | 12. <i>Pinaceae</i> マツ科 | | |
| 69. | <i>Pinus densiflora</i> Siebold et Zuccarini | アカマツ | MM |
| 70. | <i>Pinus Thunbergii</i> Parlatore | クロマツ | MM |
| | 13. <i>Cryptomeriaceae</i> スギ科 | | |

- | | | |
|--|--------------|----|
| 71. <i>Cryptomeria japonica</i> D. Don | スギ (植栽) | MM |
| 14. Cupressaceae | ヒノキ科 | |
| 72. <i>Chamaecyparis obtusa</i> Endlicher | ヒノキ(植栽および白生) | MM |
| 73. <i>C. pisifera</i> Endlicher | サワラ(植栽および白生) | MM |
| 74. <i>C. pisifera</i> Endlicher var. <i>squarrosa</i> Masters | ヒムロ (植栽) | M |

ANGIOSPERMAE 被子植物亞門

DICOTYLEDONEAE 双子葉植物綱

ARCHICHLAMYDEAE 古生花被植物亞綱

- | | | |
|--|-------------|----|
| 15. Saururaceae | ドクダミ科 | |
| 75. <i>Polypara codata</i> Bueck | ドクダミ | G |
| 16. Chloranthaceae | センリョウ科 | |
| 76. <i>Chloranthus serratus</i> Roemer et Schultes | フタリシヅカ | G |
| 77. <i>C. serratus</i> Roemer et Schultes form.
<i>prosperus</i> Honda | エグウチフタリシヅカ | G |
| 78. <i>Tricercandra japonica</i> Nakai | ヒトリシヅカ | G |
| 17. Salicaceae | ヤナギ科 | |
| 79. <i>Populus Sieboldi</i> Miquel | ヤマナラシ | M |
| 80. <i>Salix babylonica</i> Linnaeus | シダレヤナギ (植栽) | M |
| 81. <i>S. Bakko</i> Kimura | ヤマネコヤナギ | M |
| 82. <i>S. jessoensis</i> Seem. | シロヤナギ | MM |
| 83. <i>S. gracilistyla</i> Miquel | ネコヤナギ | N |
| 84. <i>S. integra</i> Thunberg | イヌコリヤナギ | N |
| 85. <i>S. sachalinensis</i> Fr. Schmidt | オノエヤナギ | MM |
| 86. <i>S. vulpina</i> Anderson | キツネヤナギ | N |
| 18. Juglandaceae | クルミ科 | |
| 87. <i>Juglans Allardiana</i> Dode var. <i>acuta</i> Koidzumi | オニグルミ | MM |
| 19. Betulaceae | カバノキ科 | |
| 88. <i>Alnus firma</i> Siebold et Zuccarini var. <i>hirtella</i>
Franchet et Savatier | ミヤマヤシヤブシ | MM |
| 89. <i>A. tinctoria</i> Sargent var. <i>obtusiloba</i> Callier | ヤマハンノキ | MM |
| 90. <i>Betula carpinifolia</i> Siebold et Zuccarini | ミヅメ | MM |
| 91. <i>Carpinus carpinoides</i> Makino | クマシデ | MM |
| 92. <i>C. erosa</i> Blume | サワシバ | MM |
| 93. <i>C. laxiflora</i> Blume | アカシデ | MM |
| 94. <i>C. Tschonokii</i> Maximowicz | イヌシデ | MM |
| 95. <i>Corylus Sieboldiana</i> Blume | ツノハシバミ | M |
| 96. <i>Ostrya japonica</i> Sargent | アサダ | MM |
| 20. Fagaceae | ブナ科 | |
| 97. <i>Castanea crenata</i> Siebold et Zuccarini | クリ | MM |
| 98. <i>Cyclobalanopsis myrsinaefolia</i> Kudo et
Masamune | シラカン | MM |

99.	<i>Fagus japonica</i> Maximowicz	イヌブナ	MM
100.	<i>Quercus acutissima</i> Carruthers	クヌギ	MM
101.	<i>Q. crispula</i> Blume	ミヅナラ	MM
102.	<i>Q. dentata</i> Thunberg	カシワ	MM
103.	<i>Q. donarium</i> Nakai	テリハコナラ	MM
104.	<i>Q. serrata</i> Thunberg	コナラ	MM
105.	<i>Shiia Sieboldi</i> Makino	スダジイ	MM
	21. Ulmaceae エレ科		
106.	<i>Celtis sinensis</i> Persoon var. <i>japonica</i> Nakai	エノキ	MM
107.	<i>Ulmus laciniata</i> Mayr	オヒヨウ	MM
108.	<i>Zelkova serrata</i> Makino	ケヤキ	MM
	22. Moraceae クワ科		
109.	<i>Broussonetia Kazinoki</i> Siebold	コウゾ	M
110.	<i>Fatoua villosa</i> Nakai	クワクサ	Th
111.	<i>Ficus foueolata</i> Wallich	イタビカヅラ	M
112.	<i>Morus bombycis</i> Koidzumi	ヤマグワ	M
113.	<i>M. bombycis</i> Koidzumi var. <i>caudatifolia</i> Koidzumi	オナガグワ	
114.	<i>M. bombycis</i> Koidzumi form. <i>dissecta</i> Naki	ホソバヤマグワ	M
	23. Cannabinaceae アサ科		
115.	<i>Humulus japonicus</i> Siebold et Zuccarini	カナムグラ	Th
116.	<i>H. Lupulus</i> Linnaeus var. <i>cordifolius</i> Maximowicz	カラハナソウ	H
	24. Urticaceae イラクサ科		
117.	<i>Boehmeria frutescens</i> Thunberg	カラムシ	H
118.	<i>B. longispica</i> Steudel	ヤブマオ	H
119.	<i>B. paraspicata</i> Nakai	クサコアカソ	H
120.	<i>B. platanifolia</i> Franchet et Savatier	メヤブマオ	H
121.	<i>B. Sieboldiana</i> Blume	ナガバヤブマオ	H
122.	<i>B. spicata</i> Thunberg	コアカソ	N
123.	<i>B. spicata</i> Thunberg var. <i>microphylla</i> Nakai	コバノコアカソ	N
124.	<i>B. tricuspis</i> Makino	アカソ	H
125.	<i>Elatostema umbellatum</i> Blume	ヒメウワバミソウ	H
126.	<i>Elatostema umbellatum</i> Blume var. <i>majus</i> Maximowicz	ウワバミソウ	H
127.	<i>Laportea bulbifera</i> Weddell	ムカゴイラクサ	H
128.	<i>Nanocnide japonica</i> Blume	カテンソウ	H
129.	<i>Pilea Hamaoi</i> Makino	ミヅ	Th
130.	<i>P. peploides</i> Hooker et Arnott	コケミヅ	Th
131.	<i>P. viridissima</i> Makino	アオミヅ	Th
132.	<i>Urtica Thunbergiana</i> Siebold et Zuccarini	イラクサ	H
	25. Santalaceae ビヤクダン科		
133.	<i>Thesium chinense</i> Turczaninow	カナビキソウ	H

26. Aristolochiaceae ウマノスズクサ科		
134.	<i>Aristolochia debilis</i> Siebold et Zuccarini	ウマノスズクサ G
135.	<i>Asiasarum Sieboldi</i> F. Maekawa	ウスバサイシン H
136.	<i>Heterotropa Fauriei</i> F. Maekawa	ミチノクサイシン H
137.	<i>Japonasarum caulescens</i> Nakai	フタバアオイ H
27. Polygonaceae タデ科		
138.	<i>Bistorta tenuicaulis</i> Nakai	ハルトラノオ H
139.	<i>Persicaria aestiva</i> Ohki	ウナギツカミ Th
140.	<i>P. bioritsuensis</i> Ohki	シロタデ Th
141.	<i>P. conspicua</i> Nakai	サクラタデ Th
142.	<i>P. longiseta</i> Kitagawa	イヌタデ Th
143.	<i>P. Maackiana</i> Nakai	サデクサ Th
144.	<i>P. minutula</i> Nakai	ヌカボタデ Th
145.	<i>P. nepalensis</i> Gross	タニソバ Th
146.	<i>P. nipponensis</i> Gross	ヤノネグサ Th
147.	<i>P. Posumbu</i> Gross	ハナタデ Th
148.	<i>P. Roettleri</i> Hara	ケボントクタデ Th
149.	<i>P. Roettleri</i> Hara var. <i>acuminata</i> Hara	ボントクタデ Th
150.	<i>P. Sieboldi</i> Ohki	アキノウナギツカミ Th
151.	<i>P. tenuiflora</i> Hara	オオイヌタデ Th
152.	<i>P. Thunbergii</i> Gross	ミゾソバ HH
153.	<i>P. triangularis</i> Nakai	ミヤマタニソバ Th
154.	<i>Truellum Masamune</i>	ママコノシリヌグイ Th
155.	<i>P. viscofera</i> Gross	ネバリタデ Th
156.	<i>P. Yokusaiana</i> Nakai	ナガボハナタデ Th
157.	<i>Polygonum aviculare</i> Linnaeus	ニワヤナギ Th
158.	<i>Reynoutria japonica</i> Houttuyn	イタドリ H
159.	<i>R. uzenensis</i> Honda	ケイタドリ H
160.	<i>Rumex Acetosa</i> Linnaeus	スイバ H
161.	<i>R. Acetosella</i> Linnaeus	ヒメスイバ H
162.	<i>R. japonica</i> Houttuyn	ギンギン H
163.	<i>R. obtusifolius</i> L. subsp. <i>agrestis</i> Danser	エゾノギンギン H
164.	<i>Tovara filiformis</i> Nakai	ミズヒキ H
165.	<i>T. neo-filiformis</i> Nakai	シンミヅヒキ H
28. Chenopodiaceae アカザ科		
166.	<i>Chenopodium album</i> Linnaeus	シロザ Th
167.	<i>C. ficifolium</i> Smith	コアカザ Th
29. Amarantaceae ヒユ科		
168.	<i>Achyranthes japonica</i> Nakai	イノコズチ H
169.	<i>A. longifolia</i> Makino	ヤナギイノコズチ H
170.	<i>Euxolus ascendens</i> Hara	イヌビユ Th
171.	<i>E. caudatus</i> Moouin	アオビユ Th

	30. Portulacaceae	スベリヒユ科		
172.	<i>Portulaca oleracea</i> Linnaeus		スベリヒユ	Th
	31. Caryophyllaceae	ナデシコ科		
173.	<i>Cerastium caespitosum</i> Gilibert var. <i>glandulosum</i> Wirtgen		ミミナグサ	Th
174.	<i>Dianthus superbus</i> Linnaeus var. <i>longicalycina</i> Williams		カワラナデシコ	H
175.	<i>Lychnis Miqueliana</i> Rohrbach		フングロセンノウ	G
176.	<i>Malachium aquaticum</i> Fries		ウシハコベ	H
177.	<i>Melandryum firmus</i> Rohrbach		フングロ	Th
178.	<i>Melandryum firmus</i> Rohrbach form. <i>pubescens</i> Makino		ケフシグロ	Th
179.	<i>Moehringia lateriflora</i> Fenzl		オオヤマフスマ	H
180.	<i>Pseudostellaria heterophylla</i> Pax		ワダソウ	H
181.	<i>Sagina japonica</i> Ohwi		ツメクサ	Th
182.	<i>Stellaria Francheti</i> Honda		ミヤマハコベ	H
183.	<i>S. media</i> Cyrillus		ハコベ	Th
184.	<i>S. media</i> Cyrillus var. <i>minor</i> Makino		コハコベ	Th
185.	<i>S. Uchiyamana</i> Makino		ヤマハコベ	H
186.	<i>S. uliginosa</i> Murray		ノミノフスマ	Th
	32. Eupteleaceae	フサザクラ科		
187.	<i>Euptela polyandra</i> Siebold et Zuccarini		フサザクラ	MM
	33. Cercidiphyllaceae	カツラ科		
188.	<i>Cercidiphyllum japonicum</i> Siebold et Zuccarini		カツラ	MM
	34. Ranunculaceae	キンボウゲ科		
189.	<i>Aconitum japonicum</i> Thunberg var. <i>montanum</i> Nakai		ヤマトリカブト	H
190.	<i>Aconitum senanense</i> Nakai		ホソバトリカブト	H
191.	<i>Anemone debilis</i> Fischer		ヒメイチゲ	G
192.	<i>A. flaccida</i> Fr. Schmidt		ニリンソウ	H
193.	<i>Cmicifuga</i> Tanaka var. <i>obtusiloba</i> Nakai		オウバシヨウマ	H
194.	<i>C. simplex</i> Wormskjold var. <i>ramosa</i> Maximowicz		サラシナシヨウマ	H
195.	<i>Clematis apiifolia</i> A. P. De Candolle		ボタンヅル	N
196.	<i>C. brevicaudata</i> A. P. De Candolle		コボタンヅル	N
197.	<i>C. japonica</i> Thunberg		ハンシヨウヅル	N
198.	<i>C. stans</i> Siebold et Zuccarini		クサボタン	N
199.	<i>C. terniflora</i> A. P. De Candolle		センニンソウ	N
200.	<i>C. tosaensis</i> Makino		トリガタハンシヨウヅル	N
201.	<i>Isopyrum dicarpon</i> Miquel		サバノオ	H
202.	<i>Ranunculus acris</i> Linnaeus var. <i>japonica</i> Maximowicz form <i>vulgaris</i> Makino		ウマノアシガタ	H

203.	<i>R. sceleratus</i> Linnaeus	タガラシ	HH
204.	<i>Ranunculus Vernyii</i> Franchet et Savatier var. <i>glaber</i> Nakai	キツネノボタン	HH
205.	<i>Ranunculus Vernyii</i> Franchet et Savatier var. <i>japonicus</i> Nakai	ケキツネノボタン	HH
206.	<i>Semiaquilegia adoxoides</i> Makino	ヒメウヅ	H
207.	<i>Shibateranthis</i> Keiskei Nakai	セツブンソウ	G
208.	<i>Thalictrum Thunbergii</i> A. P. De Candolle var. <i>hypoleucum</i> Nakai	アキカラマツ	H
	35. <i>Lardizabalaceae</i> アケビ科		
209.	<i>Akebia quinata</i> Decaisn	アケビ	N
210.	<i>A. trifoliata</i> Koidzumi	ミツバアケビ	N
	36. <i>Berberidaceae</i> メギ科		
211.	<i>Berberis Thunbergii</i> A. P. De Candolle var. <i>Maximowiczii</i> Franchet et Savatier	メギ	N
	37. <i>Menispermaceae</i> ツツラフヂ科		
212.	<i>Cocculus trilobus</i> A. P. De Candolle	カミエビ	N
	38. <i>Magnoliaceae</i> モクレン科		
213.	<i>Magnolia obovata</i> Thunberg	ホオノキ	MM
214.	<i>Schizandra nigra</i> Maximowicz	マツブサ	N
	39. <i>Lauraceae</i> クスノキ科		
215.	<i>Linder umbellata</i> Thunberg	クロモジ	N
216.	<i>Neolitsea Sieboldii</i> Nakai	シロダモ	M
217.	<i>Parabenzoin praecox</i> Nakai	アブラチヤン	M
	40. <i>Papaveraceae</i> ケン科		
218.	<i>Corydalis hondoensis</i> Ohwi	ミヤマキケマン	Th
219.	<i>C. incisa</i> Persoon	ムラサキケマン	Th
220.	<i>C. Makinoana</i> Matsumura	ヤマキケマン	Th
221.	<i>Macleya cordata</i> R. Brown	タケニグサ	H
	41. <i>Cruciferae</i> アブラナ科		
222.	<i>Arabis nipponica</i> Boissieu	ヤマハタザオ	Th
223.	<i>Capsella Bursa-pastoris</i> Medicus	ナヅナ	Th
224.	<i>Cardamine flexuosa</i> Withering	タネツケバナ	H
225.	<i>C. flexuosa</i> Withering var. <i>latifolia</i> Makino	ミヅタネツケバナ	HH
226.	<i>C. impatiens</i> Linnaeus var. <i>eriocarpa</i> A. P. De Candolle	ジヤニンジン	Th
227.	<i>C. lyrata</i> Bunge	ミヅタガラシ	HH
228.	<i>Cardamine tenuis</i> Koidzumi	マルバコンロンソウ	Th
229.	<i>Rorippa atrovirens</i> Ohwi et Hara form. <i>obtusula</i> Ohwi et Hara	イヌガラシ	H
230.	<i>Wasabia bracteata</i> Hisauti	ユリワサビ	H

42. Crassulaceae	ベンケイソウ科		
231. <i>Sedum bulbiferum</i> Makino		コモチマンネングサ	Th
43. Saxifragaceae	ユキノシタ科		
232. <i>Astilbe congesta</i> Nakai		トリアシショウマ	H
233. <i>A. microphylla</i> Knoll		チダケサシ	H
234. <i>A. odontophylla</i> Miquel		オウバノトリアシショウマ	H
235. <i>Cardiandra alternifolia</i> Siebold et Zuccarini		クサアヂサイ	H
236. <i>Chrysosplenium flgelliferum</i> Fr. Schmidt		ツルネコノメソウ	H
237. <i>C. Grayanum</i> Maximowicz		ネコノメソウ	H
238. <i>C. macrostemon</i> Maximowicz		ミヤマネコノメソウ	H
239. <i>Deutzia crenata</i> Siebold et Zuccarini			
form. <i>angustifolia</i> Regel		ウツギ	N
240. <i>D. gracilis</i> Siebold et Zuccarini		ヒメウツギ	N
241. <i>D. gracilis</i> Siebold et Zuccarini var. <i>latifolia</i> Nakai		ヒロハヒメウツギ	N
242. <i>Hydrangea hirta</i> Siebold et Zuccarini		コアヂサイ	N
243. <i>H. involucrata</i> Siebold		タマアヂサイ	N
244. <i>H. paniculata</i> Siebold var. <i>floribunda</i> Regel		ノリウツギ	M
245. <i>H. serrata</i> Seringe		ヤマアヂサイ	N
246. <i>Mitella pauciflora</i> Rosendahl		コチヤルメルソウ	H
247. <i>Philadelphus Satsumi</i> Siebold		バイカウツギ	N
248. <i>Saxifraga stolonifera</i> Meerburgh		ユキノシタ	H
249. <i>Schizophragma hydrangeoides</i> Siebold et Zuccarini		イワガラミ	MM
44. Spiraeaceae	シモツケ科		
250. <i>Spiraea japonica</i> Linnaeus f. var. <i>obatifolia</i> Koidzumi	シモツケ		N
251. <i>Stephanandra incisa</i> Zabel		コゴメウツギ	N
45. Malaceae	ナシ科		
252. <i>Malus Zumi</i> Rehder		オオズミ	MM
253. <i>Pourthiaea laevis</i> Koidzumi		カマツカ	M
254. <i>Sorbus japonica</i> Hedlund		ウラジロノキ	MM
46. Rosaceae	バラ科		
255. <i>Agrimonia nipponica</i> Koidzumi		ヒメキンミヅヒキ	H
256. <i>A. pilosa</i> Ledebour var. <i>japonica</i> Nakai		キンミヅヒキ	H
257. <i>A. pilosa</i> Ledebour var. <i>japonica</i> Nakai form. <i>bracteata</i> Nakai		オオキンミヅヒキ	H
258. <i>Duchesnea indica</i> Focke		ヤブヘビイチゴ	H
259. <i>D. Wallichiana</i> Nakai		ヘビイチゴ	H
260. <i>Geum japonicum</i> Thunberg		ダイコンソウ	H
261. <i>Kerria japonica</i> A. P. De Candolle		ヤマブキ	N
262. <i>Potentilla centigrana</i> Maximowicz		ヒメヘビイチゴ	HH
263. <i>P. Cryptolaeniae</i> Maximowicz var. <i>insularis</i>			

	Kitagawa	ミツモトソウ	H
264.	<i>P. fragarioides</i> Linnaeus var. <i>Sprengeliana</i> Maximowicz	キジムシロ	H
265.	<i>P. Freyniana</i> Bornmueller	ミツバツチグリ	H
266.	<i>P. Kleiniana</i> Wight et Arnott	オヘビイチゴ	H
267.	<i>Rosa Onoei</i> Makino	ヤブイバラ	N
268.	<i>R. polyantha</i> Siebold et Zuccarini	ノイバラ	N
269.	<i>Rosa polyantha</i> Siebold et Zuccarini form. <i>rosipetala</i> Honda	ウスアカノイバラ	N
270.	<i>R. Wichuraiana</i> Crepin	テリハノイバラ	N
271.	<i>R. Wichuraiana</i> Crepin var. <i>paniculata</i> Makino et Nemoto	コバノテリハノイバラ	N
272.	<i>Rubus Buergeri</i> Miquel	フユイチゴ	N
273.	<i>R. coptophyllus</i> A. Gray	モミヂイチゴ	N
274.	<i>R. hirsutus</i> Thunberg	クサイチゴ	N
275.	<i>R. microphyllus</i> Linnaeus, f.	コバノニガイチゴ	N
276.	<i>R. microphyllus</i> Linnaeus, f. var. <i>incisus</i> Koidzumi	ニガイチゴ	N
277.	<i>R. parvifolius</i> Linnaeus var. <i>triphyllus</i> Nakai	ナワシロイチゴ	N
278.	<i>R. phoenicolasius</i> Maximowicz	ウラジロイチゴ	N
279.	<i>R. Wrightii</i> A. Gray	クマイチゴ	N
280.	<i>Sanguisorba carnea</i> Fischer	ワレモコウ	H
	47. <i>Amygdalaceae</i> サクラ科		
281.	<i>Prunus Buergeriana</i> Miquel	イヌザクラ	MM
282.	<i>P. Grayana</i> Maximowicz	ウワミヅザクラ	MM
283.	<i>P. serrulata</i> Lindley var. <i>spontanea</i> Makino	ヤマザクラ	MM
284.	<i>P. serrulata</i> Lindley var. <i>pubescens</i> Nakai	ケヤマザクラ	MM
285.	<i>Prunus Lannesiana</i> Wilson var. <i>speciosa</i> Makino form. <i>simpliciflora</i> Makino	オオシマザクラ (植栽)	MM
	48. <i>Leguminosae</i> マメ科		
286.	<i>Albizzia Julibrissin</i> Durazzini var. <i>speciosa</i> Koidzumi	ネムノキ	M
287.	<i>Amphicarpaea trisperma</i> Baker	ヤブマメ	Th
288.	<i>Apios Fortunei</i> Maximowicz	ホド	H
289.	<i>Caesalpinia japonica</i> Siebold et Zuccarini	ジャケツイバラ	N
290.	<i>Desmodium fallax</i> Schindler var. <i>dilatatum</i> Nakai	ヤブハギ	H
291.	<i>D. Oldhami</i> Oliver	フジカンゾウ	H
292.	<i>D. racemosum</i> A. P. De Candolle	ヌスビトハギ	H
293.	<i>Dumasia truncata</i> Siebold et Zuccarini	ノササゲ	H
294.	<i>Indigofera pseud-tinctoria</i> Matsumura	コマツナギ	CH
295.	<i>Kummerowia striata</i> Schindler	ヤハズソウ	Th
296.	<i>Lespedeza bicolor</i> Turczaninow var. <i>japonica</i>		

	Nakai	ヤマハギ	CH
297.	<i>L. cuneat</i> G. Don	メドハギ	CH
298.	<i>L. homoloba</i> Nakai	ヤブハギ	N
299.	<i>Lespedeza pilosa</i> Siebold et Zuccarini	ネコハギ	H
300.	<i>L. tomentosa</i> Siebold	イヌハギ	CH
301.	<i>Lotus corniculatus</i> Linnaeus var. <i>iaponicus</i> Regel	ミヤコグサ	H
302.	<i>Maackia amurensis</i> Ruprecht et Maximowicz var. <i>Buergeri</i> Schneider	イヌエンジュ	M
303.	<i>Pueraria Thunbergiana</i> Bentham	クズ	M
304.	<i>Sophora angustifolia</i> Siebold et Zuccarini	クララ	H
305.	<i>Trifolium repens</i> Linnaeus	シロツメクサ	H
306.	<i>Vicia Cracca</i> Linnaeus	クサフデ	H
307.	<i>V. unijuga</i> AL. Braum	ナンテンハギ	H
308.	<i>Wistaria floribunda</i> A. P. De Candolle	フデ	MM
	49. Geraniaceae フウロソウ科		
309.	<i>Geranium Thunbergii</i> Siebold et Zuccarini	ゲンノショウコ	H
310.	<i>G. tripartitum</i> R. Kunth	コフウロ	H
	50. Oxalidaceae カタバミ科		
311.	<i>Oralis Acetosella</i> Linnaeus var. <i>japonica</i> Makino	ミヤマカタバミ	H
312.	<i>Xanthoxalis corniculata</i> Small	カタバミ	H
313.	<i>X. corniculata</i> Small var. <i>atropurpurea</i> Mold.	ウスアカカタバミ	H
314.	<i>X. corniculata</i> Small var. <i>erecta</i> Hatusima et Nakasima	タチカタバミ(ケカタバミ)	H
315.	<i>X. corniculata</i> Small var. <i>rubrifolia</i> Hatusima et Nakasima	アカカタバミ	H
	51. Rataceae ミカン科		
316.	<i>Boeninghausenia japonica</i> Nakai	マツカゼソウ	H
317.	<i>Fagara mantchurica</i> Honda	イヌザンショウ	N
318.	<i>Orixa japonica</i> Thunberg	コクサギ	N
319.	<i>Phellodendron Lavalleyi</i> Dode	キハダ	MM
320.	<i>P. sachalinense</i> Sargent var. <i>suberosum</i> Hara	ヒロハノキハダ	MM
	52. Simarubaceae ニガキ科		
321.	<i>Picrasma ailanthoides</i> Planchon	ニガキ	MM
	53. Polygalaceae ヒメハギ科		
322.	<i>Polygala japonica</i> Houttuyn	ヒメハギ	H
	54. Euphorbiaceae トウダイグサ科		
323.	<i>Acalypha australis</i> Linnaeus	エノキグサ	Th
324.	<i>Galarhodes adenochlorus</i> Hara	ノウルシ	HH
325.	<i>G. pekinensis</i> Hara	タカトウダイ	H
326.	<i>Mallotus japonicus</i> Mueller, Arg.	アカメガシワ	MM
	55. Anacardiaceae ウルシ科		
327.	<i>Rhus ambigua</i> Lavalley	ツタウルシ	MM

328.	<i>R. javanica</i> Linnaeus	ヌルデ	MM
329.	<i>R. trichocarpa</i> Miquel	ヤマウルシ	M
330.	<i>R. trichocarpa</i> Miquel var. <i>serrata</i> Engler	コバノヤマウルシ	N
331.	<i>R. verniciflua</i> Stokes	ウルシ (植栽)	MM
	56. Aquifoliaceae	モチノキ科	
332.	<i>Ilex crenata</i> Thunberg	イヌツゲ	N
333.	<i>I. macropoda</i> Miquel	アオハダ	MM
334.	<i>Ilex macropoda</i> Miquel var. <i>pseudo-macropoda</i> Nakai	ケナシアオハダ	MM
	57. Celastraceae	ニシキギ科	
335.	<i>Celastrus orbiculatus</i> Thunberg	ツルウメモドキ	M
336.	<i>C. strigillosus</i> Nakai	オニツルウメモドキ	M
337.	<i>Euonymus alatus</i> Siebold	ニシキギ	N
338.	<i>E. alatus</i> Siebold var. <i>subtriflorus</i> Franchet et Savatier	コマユミ	N
339.	<i>E. Fortunei</i> Handel-Mazzett var. <i>radicans</i> Rehder	ツルマサキ	MM
340.	<i>E. oxyphyllus</i> Miquel.	ツリバナ	M
341.	<i>E. Sieboldianus</i> Blume	マユミ	M
	58. Staphyleaceae	ミツバウツギ科	
342.	<i>Staphylea Bumalda</i> A. P. De Candolle	ミツバウツギ	M
	59. Aceraceae	カエデ科	
343.	<i>Acer amoenum</i> carriere	オオモミヂ	MM
344.	<i>A. carpinifolium</i> Siebold et Zuccarini	チドリノキ	MM
345.	<i>A. cissifolium</i> C. Koch	ミツデカエデ	M
346.	<i>A. crataegifolium</i> Siebold et Zuccarini	ウリカエデ	M
347.	<i>A. diabolicum</i> Blume	カデカエデ	MM
348.	<i>A. distylum</i> Siebold et Zuccarini	ヒトツバカエデ	MM
349.	<i>A. formosum</i> Carriere	イロハモミヂ	MM
350.	<i>A. mono</i> Maximowicz var. <i>dissectum</i> Honda	エンコウカエデ	MM
351.	<i>A. mono</i> Maximowicz var. <i>eupictum</i> Nakai	イタヤカエデ	MM
352.	<i>A. mono</i> Maximowicz var. <i>nikkoense</i> Honda	ウラゲエンコウカエデ	MM
353.	<i>A. mono</i> Maximowicz var. <i>Paxii</i> Honda	オニイタヤ	MM
354.	<i>A. nikoense</i> Maximowicz	メグスリノキ	MM
355.	<i>A. ornatum</i> Carrier var. <i>Matsumurae</i> Koidzumi	ヤマモミヂ	MM
356.	<i>Acer rufinerve</i> Siebold et Zuccarini	ウリハダカエデ	MM
	60. Sabiaceae	アワブキ科	
357.	<i>Meliosma myriantha</i> Siebold et Zuccarini	アワブキ	N
358.	<i>M. tenuis</i> Maximowicz	ミヤマハハソ	N
	61. Balsaminaceae	ツリフネソウ科	
359.	<i>Impatiens Noli-tangere</i> Linnaeus	キツリフネ	Th
360.	<i>I. Textori</i> Miquel	ツリフネソウ	Th

	62. Rhamnaceae	クロウメモドキ科		
361.	<i>Berchemia racemosa</i> Siebold et Zuccarini		クマヤナギ	M
362.	<i>Hovenia dulcis</i> Thunberg		ケンポナシ	MM
	63. Vitaceae	ブドウ科		
363.	<i>Ampelopsis brevipedunculata</i> Trautvetter			
	var. <i>Maximowiczii</i> Reder		ノブドウ	N
364.	<i>Cayratia japonica</i> Merrill		ヤブガラシ	G
365.	<i>Parthenocissus Thunbergii</i> Nakai		ツタ	MM
366.	<i>Vitis flexuosa</i> Thunberg		サンカクヅル	M
367.	<i>V. Thunbergii</i> Siebold et Zuccarini		エビヅル	N
	64. Tiliaceae	シナノキ科		
368.	<i>Tilia japonica</i> Simon'kai		シナノキ	MM
	65. Actinidiaceae	マタタビ科		
369.	<i>Actinidia arguta</i> Planchon		サルナシ	M
370.	<i>Actinidia arguta</i> Planchon var. <i>platyphylla</i> Nakai		コクハヅル	M
371.	<i>A. repanda</i> Honda		マタタビ	M
	66. Theaceae	ツバキ科		
372.	<i>Camaellia japonica</i> Linnaeus var. <i>spontanea</i> Makino		ヤブツバキ	h
373.	<i>Tea sinensis</i> Linnaeus var. <i>bohea</i> Szyszylowicz		チャノキ (野化)	N
	67. Guttiferae	オトギリソウ科		
374.	<i>Hypericum Ascyron</i> Linnaeus		トモエソウ	H
375.	<i>H. erectum</i> Thunberg		オトギリソウ	H
	68. Violaceae	スミレ科		
376.	<i>Viola Bisseti</i> Maximowicz		ナガバノスミレサイシン	H
377.	<i>V. eizanensis</i> Makino		エゾスミレ	H
378.	<i>V. grypceras</i> A. Gray		タチツボスミレ	H
379.	<i>V. minor</i> Makino		ヒメスミレ	H
380.	<i>V. obtusa</i> Makino		ニオイタチツボスミレ	H
381.	<i>V. phalacrocarpa</i> Maximowicz		アカネスミレ	H
382.	<i>V. phalacrocarpoides</i> Makino		オカスミレ	H
383.	<i>V. pumilio</i> W. Becker		フモトスミレ	H
384.	<i>V. Rossii</i> Hemsley		アケボノスミレ	H
385.	<i>V. semilunaris</i> W. Becker		アギスミレ	H
386.	<i>V. Takedana</i> Makino.		ヒメスミレ	H
	69. Stachyuraceae	キブシ科		
387.	<i>Stachyurus ovalifolius</i> Nakai		エノシマキブシ	N
388.	<i>S. praecox</i> Siebold et Zuccarini		キブシ	N
	70. Elaeagnaceae	グミ科		
389.	<i>Elaeagnus crispa</i> Thunberg		アキグミ	N
390.	<i>E. longipes</i> A. Gray		ナツグミ	M

	71. Lythraceae	ミソハギ科		
391.	<i>Lythrum anceps</i> Makino		ミソハギ	HH
292.	<i>L. Salicaria</i> Linnaeus var. <i>vulgare</i> A. P. De Candolle		エゾミソハギ	HH
	72. Alangiaceae	ウリノキ科		
393.	<i>Marler macrophylla</i> Siebold et Zuccarini var. <i>trilobata</i> Nakai		ウリノキ	N
	73. Oenotheraceae	アカバナ科		
394.	<i>Circaea caulescens</i> Nakai var. <i>glabra</i> Hara		ミヤマタニタデ	H
395.	<i>C. erubescens</i> Franchet et Savatier		タニタデ	H
396.	<i>C. mollis</i> Siebold et Zuccarini		ミヅタマソウ	H
397.	<i>Epilobium pyrriholophum</i> Franchet et Savatier		アカバナ	H
398.	<i>Ludurigia prostrata</i> Roxburgh		チョウジタデ	Th
399.	<i>Oenothera Lamarkiana</i> Seringe		オオマツヨイグサ	Th
	74. Araliaceae	ウコギ科		
400.	<i>Acanthopanax japonicum</i> Franchet et Savatier		ヤマウコギ	N
401.	<i>A. nipponicum</i> Makino		オカウコギ	N
402.	<i>A. sciadophylloides</i> Franchet et Savatier		コシアブラ	MM
403.	<i>A. spinosum</i> Miquel		ウコギ	N
404.	<i>Aralia cordata</i> Thunberg		ウド	G
405.	<i>A. elata</i> Seemann		タラノキ	N
406.	<i>A. elata</i> Seemann var. <i>canescens</i> Nakai		メダラ	N
407.	<i>Hedera Tobleri</i> Nakai		キヅタ	MM
408.	<i>Kalopanax pictum</i> Nakai		ハリギリ	MM
409.	<i>Panax japonicum</i> C. A. Meyer		トチバニンジン	G
	75. Umbelliferae	セリ科		
410.	<i>Angelica decursiva</i> Franchet et Savatier		ノグケ	H
411.	<i>A. edulis</i> Miyabe		アマニウ	H
412.	<i>A. polymorpha</i> Maximowicz		シラネセンキュウ	H
413.	<i>A. Schishiudo</i> Koidzumi		シシウド	H
414.	<i>Anthriscus nemorosa</i> Sprengel		シヤク	H
415.	<i>Chamaele decumbens</i> Makino		セントウソウ	H
416.	<i>Cryptotaenia japonica</i> Hasskarl		ミツバ	H
417.	<i>Hydrocotyle sibthorpioides</i> Lamarck		チドメグサ	H
418.	<i>Libanotis ugoensis</i> Kitagawa		イブキボウフウ	H
419.	<i>Oenanthe javanica</i> A. P. De Candolle		セリ	H
420.	<i>Osmorhiza aristata</i> Makino et Yabe		ヤブニンジン	H
421.	<i>Ostericum Miquelianum</i> Kitagawa		ヤマゼリ	H
422.	<i>Pimpinella calycina</i> Maximowicz		ダケゼリ	H
423.	<i>Sanicula chinensis</i> Bunge		ウマノミツバ	H
	76. Cornaceae	ミヅキ科		
424.	<i>Aucuba japonica</i> Thunberg		アオキ	N

425.	<i>Cornus brachypoda</i> C. A. Meyer	クマノミヅキ	M
426.	<i>C. controversa</i> Hemsley	ミヅキ	MM
427.	<i>Cynoxylon japonica</i> Nakai	ヤマボウシ	M
428.	<i>Helwingia japonica</i> Willdenow	ハナイカダ	N

METACHLAMYDEAE 後世花被植物亞綱

77.	Clethraceae	リョウブ科	
429.	<i>Clethra barbinervis</i> Siebold et Zuccarini	リョウブ	M
78.	Pirolaceae	イチヤクソウ科	
430.	<i>Chimaphila japonica</i> Miquel	ウメガサソウ	H
431.	<i>Monotropastrum globosum</i> H. Andres	ギンリョウソウ	G
432.	<i>Pyrola japonica</i> Klenze	イチヤクソウ	H
433.	<i>P. renifolia</i> Maximowicz	ジンヨウイチヤクソウ	H
79.	Ericaceae	ツツジ科	
434.	<i>Lyonia Neziki</i> Nakai et Hara	ネジキ	M
435.	<i>Pieris japonica</i> D. Don	アセビ	M
436.	<i>Rhododendron Degronianum</i> Carriere form. <i>spontaneum</i> Nakai	シヤクナゲ (植栽)	N
437.	<i>R. indicum</i> Sweet	サツキ (植栽)	N
438.	<i>R. Kaempferi</i> Planchon	ヤマツツジ	N
439.	<i>R. Wadanum</i> Makino	トウゴクミツバツツジ	N
80.	Myrsinaceae	ヤブコウジ科	
440.	<i>Bladhia japonica</i> Thunberg	ヤブコウジ	N
81.	Primulaceae	サクラソウ科	
441.	<i>Lysimachia acroadenia</i> Maximowicz	ミヤマタゴボウ	H
442.	<i>L. barystachys</i> Bunge	ノヂトラノオ	H
443.	<i>L. clethroides</i> Duby	オカトラノオ	H
444.	<i>L. leucantha</i> Miquel	サワトラノオ	HH
445.	<i>L. japonica</i> Thunberg var. <i>subsessilis</i> F. Maekawa	コナスビ	H
82.	Ebenaceae	カキノキ科	
446.	<i>Diospyros Kaki</i> Thunberg var. <i>silvestris</i> Makino	ヤマガキ	M
83.	Symplocaceae	ハイノキ科	
447.	<i>Palura chinensis</i> Koidzumi form. <i>pilosa</i> Hara	サワフタギ	N
84.	Styracaceae	エゴノキ科	
448.	<i>Pterostyrax hispidus</i> Siebold et Zuccarini	オオバアサガラ	M
449.	<i>Styrax japonicus</i> Siebold et Zuccarini	エゴノキ	M
450.	<i>Styrax Obassia</i> Siebold et Zuccarini	ハクウンボク	M
85.	Oleaceae	モクセイ科	
451.	<i>Fraxinus Sieboldiana</i> Blume var. <i>serrata</i> Nakai	アオダモ	M
452.	<i>Ligustrum obtusifolium</i> Siebold et Zuccarini	イボタノキ	N

	86. Loganiaceae	フジウツギ科		
453.	<i>Buddleja japonica</i> Hemsley		フヂウツギ	N
	87. Gentianaceae	リンドウ科		
454.	<i>Gentiana scabra</i> Bunge var. <i>orientalis</i> Hara		リンドウ	H
455.	<i>Swertia bimaculata</i> Hooker et Thomson		アケボノソウ	Th
456.	<i>S. japonica</i> Makino		センブリ	Th
457.	<i>Tripterospermum japonicum</i> Maximowicz		ツルリンドウ	H
	88. Apocynaceae	キョウチクトウ科		
458.	<i>Trachelospermum asiaticum</i> Nakai			
	var. <i>intermedium</i> Nakai		テイカカツラ	MM
	89. Asclepiadaceae	カガイモ科		
459.	<i>Cynanchum caudatum</i> Maximowicz		イケマ	G
460.	<i>C. magnificum</i> Nakai		タチガシワ	H
461.	<i>Metaplexis japonica</i> Makino		ガガイモ	H
462.	<i>Tylophora nikoensis</i> Matsumura		コカモメヅル	H
	90. Convolvulaceae	ヒルガオ科		
463.	<i>Calystegia japonica</i> Choisy form. <i>vulgaris</i> Hara		ヒルガオ	G
	91. Boraginaceae	ムラサキ科		
464.	<i>Lithospermum arvense</i> Linnaeus		イヌムラサキ	Th
465.	<i>Trigonotis peduncularis</i> Bentham		タビラコ	Th
	92. Verbenaceae	クマツヅラ科		
466.	<i>Callicarpa japonica</i> Thunberg		ムラサキシキブ	N
467.	<i>C. mollis</i> Siebold et Zuccarini		ヤブムラサキ	N
468.	<i>Clerodendrum trichotomum</i> Thunberg		クサギ	M
	93. Labiatae	シソ科		
469.	<i>Ajuga yesoensis</i> Maximowicz var. <i>tsukubana</i> Nakai		ツクバキンモンソウ	H
470.	<i>Chelonopsis moschata</i> Miq.		ジヤコウソウ	H
471.	<i>Clinopodium chinense</i> O. Kuntze			
	var. <i>parviflorum</i> Hara		クルマバナ	H
472.	<i>Clinopodium chinense</i> O. Kuntze			
	var. <i>shibetchense</i> Koidzumi		ヤマクルマバナ	H
473.	<i>C. confine</i> O. Kuntze		トウバナ	H
474.	<i>C. sachalinense</i> Koidzumi		ミヤマトウバナ	H
475.	<i>Elscholtzia Patrini</i> Garcke		ナギナタコウジュ	Th
476.	<i>Glechoma hederacea</i> Linnaeus var. <i>grandis</i> Kudo		カキドオシ	H
477.	<i>Isodon excisus</i> Kudo		カメバヒキオコシ	H
478.	<i>I. inflexus</i> Kudo		ヤマハクカ	H
479.	<i>I. japonica</i> Hara		ヒキオコシ	H
480.	<i>Lamium amplexicaule</i> Linnaeus		ホトケノザ	Th
481.	<i>Lycopus coreanus</i> Leveilla			
	var. <i>ramosissimus</i> Nakai		サルダヒコ	HH

482.	<i>L. Maackianus</i> Makino	ヒメシロネ	HH
483.	<i>Meehania urticifolia</i> Makino	ラシヨウモンカヅラ	H
484.	<i>Orthodon grosseserratum</i> Kudo	ヒメジソ	Th
485.	<i>Perilla frutescens</i> Britton var. <i>japonica</i> Hara	エゴマ	Th
486.	<i>Prunella vulgaris</i> Linnaeus form. <i>asiatica</i> Hara	ウツボグサ	H
487.	<i>Salvia japonica</i> Thunberg	アキノタムラソウ	H
488.	<i>S. omerocalyx</i> Hayata var. <i>intermedia</i> F. Maekawa	ナツノタムラソウ	H
489.	<i>S. nipponica</i> Miquel	アキギリ	H
490.	<i>Scutellaria laeteviolacea</i> Koidzumi	シソバタツナミソウ	H
491.	<i>Teucrium japonicum</i> Houttuyn	ニガクサ	H
	94. Solanaceae ナス科		
492.	<i>Lycium chinense</i> Miller	クコ	N
493.	<i>Solanum lyratum</i> Thunberg	ヒヨドリジョウゴ	H
	95. Scrophulariaceae ゴマノハグサ科		
494.	<i>Centranthera cochinchinensis</i> Merrill var. <i>lutea</i> Hara	ゴマクサ	Th
495.	<i>Lindernia crustacea</i> F. V. Mueller	ウリクサ	Th
496.	<i>Mazus japonicus</i> O. Kuntze	トキワハゼ	Th
497.	<i>M. Miquelii</i> Makino var. <i>stolonifer</i> Nakai	サギゴケ	H
498.	<i>Mimulus inflatus</i> Nakai	ミゾホオヅキ	HH
499.	<i>Phtheirospermum japonicum</i> Kanitz	コシオガマ	Th
500.	<i>Scrophularia duplicato-serrata</i> Makino	ヒナノウスツボ	H
501.	<i>Veronica arvensis</i> Linnaeus	タチイヌノフグリ	Th
502.	<i>Veronica Miqueliana</i> Nakai	クワガタソウ	H
	96. Bignoniaceae ノウゼンカヅラ科		
503.	<i>Campsis grandiflora</i> K. Schumann	ノウゼンカヅラ (植栽)	M
	97. Acanthaceae キツネノマゴ科		
504.	<i>Dicliptera japonica</i> Makino	ハグロソウ	H
505.	<i>Justicia procumbens</i> Linnaeus form. <i>japonica</i> Hara	キツネノマゴ	Th
	98. Phrymaceae ハエドクソウ科		
506.	<i>Phryma leptostachya</i> Linnaeus	ハエドクソウ	H
	99. Plantaginaceae オオバコ科		
507.	<i>Plantago asiatica</i> Linnaeus var. <i>densiuscula</i> Pilger	オオバコ	H
	100. Rubiaceae アカネ科		
508.	<i>Asperula trifida</i> Makino	ウスユキムグラ	H
509.	<i>Galium dahuricum</i> Turczaninow var. <i>tokyoense</i> Cufodontis	ハナムグラ	H
510.	<i>Galium Kikumugura</i> Ohwi	キクムグラ	H
511.	<i>G. spurium</i> Linnaeus var. <i>echinospermum</i> Hayek	ヤエムグラ	Th

512.	<i>G. trachyspermum</i> A. Gray	ヨツバムグラ	H
513.	<i>G. trifloriforme</i> Komarow var. <i>nipponicum</i> Nakai	クルマムグラ	H
514.	<i>G. verum</i> Linnaeus var. <i>nikkoense</i> Nakai	カワラマツバ	H
515.	<i>Hedyotis</i> Lindleyana Hooker var. <i>hirsuta</i> Hara	ハンカグサ	Th.
516.	<i>Paederia scandens</i> Merrill var. <i>Mairei</i> Hara	ヘクソカヅラ	H
517.	<i>Rubia</i> Akane Nakai	アカネ	H
	101. Caprifoliaceae スイカヅラ科		
518.	<i>Abelia spathulata</i> Siebold et Zuccarini var. <i>spathulata</i> .	ツクバネウツギ	N
519.	<i>Abelia spathulata</i> Siebold et Zuccarini var. <i>subtetrasepala</i> Makino	メツクバネウツギ	N
520.	<i>Lonicera gracilipes</i> Miquel var. <i>gracilipes</i> .	ヤマウグイスカグラ	N
521.	<i>L. gracilipes</i> Miquel var. <i>glabra</i> Miquel	ウグイスカグラ	N
522.	<i>L. japonica</i> Thunberg var. <i>japonica</i> .	スイカヅラ	N
523.	<i>L. tenuipes</i> Nakai var. <i>tenuipes</i> .	ミヤマウグイスカグラ	N
524.	<i>Sambucus chinensis</i> Lindley	ソクヅ	H
525.	<i>S. Sieboldiana</i> Blume	ニワトコ	M
526.	<i>S. Sieboldiana</i> Blume form. <i>stenophylla</i> Hara	ホソバニワトコ	M
527.	<i>S. Sieboldiana</i> Blume var. <i>Miquelii</i> Hara	エゾニワトコ	M
528.	<i>Viburnum dilatatum</i> Thunberg form. <i>dilatatum</i> .	アラゲガマズミ	N
529.	<i>Viburnum dilatatum</i> Thunberg form. <i>pilosulum</i> Nakai	ガマズミ	N
530.	<i>Viburnum erosum</i> Thunberg var. <i>punctatum</i> Franchet et Savatier	コバノガマズミ	N
531.	<i>V. phlebotrachium</i> Siebold et Zuccarini	オトコヨウゾメ	N
532.	<i>V. plicatum</i> Thunberg	オオデマリ (植栽)	N
533.	<i>V. plicatum</i> Thunberg form. <i>tomentosum</i> Rehder	ヤブデマリ	M
534.	<i>Weigela coraeensis</i> Thunberg	ハコネウツギ	M
535.	<i>W. decora</i> Nakai	ニシキウツギ	N
	102. Adoxaceae レンブクソウ科		
536.	<i>Adoxa Moschatellina</i> Linnaeus var. <i>inodora</i> Falconer	レンブクソウ	H
	103. Valerianaceae オミナエシ科		
537.	<i>Patrinia scabiosaefolia</i> Fischer	オミナエシ	H
538.	<i>P. villosa</i> Jussieu	オトコヘシ	H
539.	<i>Valeriana flaccidissima</i> Maximowicz	ヤマカノコソウ	H
	104. Dipsacaceae マツムシソウ科		
540.	<i>Dipsacus japonicus</i> Miquel	ナベナ	Th.
	105. Cucurbitaceae ウリ科		
541.	<i>Gynostemma pentaphyllum</i> Makino	アマチヤヅル	G
542.	<i>Trichosanthes cucumeroides</i> Maximowicz	カラスウリ	G

106.	Campanulaceae	キキョウ科		
543.	<i>Adenophora triphylla</i> A. DC. var. <i>japonica</i> Hara		ツリガネニンジン	H
544.	<i>Adenophora triphylla</i> A. DC. form. <i>canescens</i> Kitamura		シラゲシヤジン	H
545.	<i>Campanula punctata</i> Lamarck var. <i>punctata</i> .		ホタルブクロ	H
546.	<i>Codonopsis lanceolata</i> Trautvetter		ツルニンジン	G
547.	<i>Peracarpa carnosa</i> Hooker var. <i>circaeoides</i>		タニギキョウ	H
107.	Compositae	キク科		
548.	<i>Adenocaulon himalaicum</i> Edgeworth		ノブキ	H
549.	<i>Ainsliaea acerifolia</i> Schultz-Bipontinus var. <i>subapoda</i> Nakai		オクモミヂハグマ	H
550.	<i>A. apiculata</i> Schultz-Bipontinus		キツコウハグマ	H
551.	<i>Artemisia japonica</i> Thunberg		オトコヨモギ	H
552.	<i>A. Keiskeana</i> Miquel		イヌヨモギ	H
553.	<i>A. princeps</i> Pampaini		カズザキヨモギ	H
554.	<i>Aster ageratoides</i> Turczaninow subsp. <i>ovatus</i> Kitamura		ノコンギク	H
555.	<i>A. Glehni</i> Fr. Schmidt var. <i>hondoensis</i> Kitamura		ゴマナ	H
556.	<i>A. Inumae</i> Kitamura		ユウガギク	H
557.	<i>A. leiophyllus</i> Franch. et Savatier		ヤマシロギク	H
558.	<i>Aster scaber</i> Thunberg		シラヤマギク	H
559.	<i>A. Sugimotoi</i> Kitamura		アキハギク	H
560.	<i>A. Yomena</i> Honda var. <i>dentatus</i> Hara		カントウヨメナ	H
561.	<i>Atractylodes japonica</i> Koidzumi		オケラ	H
562.	<i>Bidens tripartita</i> Linnaeus		タウコギ	Th
563.	<i>Cacalia delphiniifolia</i> Siebold et Zuccarini		モミヂガサ	H
564.	<i>C. farfaraefolia</i> Siebold et Zuccarini var. <i>acerina</i> Kitamura		モミヂタマブキ	H
565.	<i>C. farfaraefolia</i> Siebold et Zuccarini var. <i>bulbifera</i> Kitamura		タマブキ	H
566.	<i>C. nikomontana</i> Matsumura		オオカニコウモリ	H
567.	<i>Carpesium abrotanoides</i> Linneaus		ヤブタバコ	Th
568.	<i>C. divaricatum</i> Siebold et Zuccarini		ガンクビソウ	Th
569.	<i>C. glossophyllum</i> Maximowicz		サジガンクビソウ	H
570.	<i>Carpesium Koidzumii</i> Makino		ホソバガンクビソウ	H
571.	<i>C. Koidzumii</i> Makino var. <i>Matsuei</i> Hara		ノツボロガンクビソウ	H
572.	<i>C. triste</i> Maximowicz		ガンクビヤブタバコ	H
573.	<i>Centipeda minima</i> Al.		トキンソウ	Th
574.	<i>Chrysanthemum Makinoi</i> Matsumura		リウノウギク	H
575.	<i>Cirsium comosum</i> Matsumura var. <i>incomptum</i> Kitamura		タイアザミ	H
576.	<i>C. japonicum</i> DC.		ノアザミ	H

577.	<i>C. microspicatum</i> Nakai	アヅマヤマアザミ	H
578.	<i>Eclipta prostrata</i> Linnaeus	タカサブロウ	Th
579.	<i>Erechtites hieracifolia</i> Rafinesque	ダンドボロギク	Th
580.	<i>Erigeron annuus</i> Persoon	ヒメヂョオン	Th
581.	<i>E. canadensis</i> Linnaeus	ヒメムカシヨモギ	Th
582.	<i>Eupatorium chinense</i> L. var. <i>simplicifolium</i> Kitamura	ヒヨドリバナ	H
583.	<i>E. Lindleyanum</i> DC.	サワヒヨドリ	H
584.	<i>Gnaphalium affine</i> D. Don	ハハコグサ	Th
585.	<i>G. japonicum</i> Thunberg	チチコグサ	H
586.	<i>Gynura japonica</i> Juel	サンシチ (野化)	H
587.	<i>Hemistepta lyrata</i> Bunge	キツネアザミ	Th
588.	<i>Ixeris chinensis</i> Nakai subsp. <i>stigosa</i> Kitamura	タカサゴソウ	H
589.	<i>I. dentata</i> Nakai	ニガナ	H
590.	<i>I. japonica</i> Nakai	ヂンバリ	H
591.	<i>Lactuca indica</i> Linnaeus var. <i>laciniata</i> Hara	アキノノゲシ	Th
592.	<i>L. Raddeana</i> Maximowicz var. <i>elata</i> Kitamura	ヤマニガナ	Th
593.	<i>Leibnitzia Anandria</i> Nakai	センボンヤリ	H
594.	<i>Ligularia Fischeri</i> Turczaninow	オタカラコウ	H
595.	<i>Macroclinidium robustum</i> Maximowicz	カシワバハグマ	H
596.	<i>M. trilobum</i> Makino	オヤリハグマ	H
597.	<i>Paraixeris denticulata</i> Nakai	ヤクシソウ	Th
598.	<i>P. denticulata</i> Nakai form. <i>pinnatipartita</i> Nakai	ハナヤクシソウ	Th
599.	<i>Pertya glabrescens</i> Schultz-Bipontinus	ナガバノコウヤボウキ	N
600.	<i>P. scandens</i> Schultz-Bipontinus	コウヤボウキ	C H
601.	<i>Petasites japonicus</i> Maximowicz	フキ	H
602.	<i>Picris hieracioides</i> Linnaeus	コウゾリナ	Th
603.	<i>Prenanthes acerifolia</i> Matsumura	フクオウソウ	H
604.	<i>P. Tanakae</i> Koidzumi	オオニガナ	H
605.	<i>Saussurea nikoensis</i> Franchet et Savatier	トウヒレン	H
606.	<i>S. nipponica</i> Miquel subsp. <i>sendaica</i> Kitamura	センダイトウヒレン	H
607.	<i>Senecio cannabifolius</i> Lessing	ハンゴンソウ	H
608.	<i>Siegesbeckia glabrescens</i> Makino	コメナモミ	Th
609.	<i>S. pubescens</i> Makino	メナモミ	Th
610.	<i>Solidago Virgaurea</i> Linnaeus	アキノキリンソウ	H
611.	<i>Sonchus asper</i> Linnaeus	オニノゲシ	Th
612.	<i>S. oleraceus</i> Linnaeus	ノゲシ	Th
613.	<i>Youngia japonica</i> DC.	オニタバコ	Th
108.	Bambusaceae タケ科		
614.	<i>Arundinaria ramosa</i> Makino	アヅマザサ	N
615.	<i>Pleioblastus chino</i> Makino	アヅマネザサ	N
616.	<i>Pseudosasa japonica</i> Makino	ヤダケ	N

617.	<i>Sasa nipponica</i> Makino et Shibata	ミヤコザサ	N
618.	<i>Sasamorpha purpurascens</i> Nakai	スズダケ	N
619.	<i>Sinoarundinaria pubescens</i> Honda	モウソウチク (植栽)	MM
	109. Gramineae イネ科		
620.	<i>Agropyron japonense</i> Honda	タチカモジグサ	Th
621.	<i>A. semicostatum</i> Nees	カモジグサ	Th
622.	<i>Agrostis Matsumurae</i> Hackel	ヌカボ	Th
623.	<i>A. perennans</i> Tuckerman	ヤマヌカボ	Th
624.	<i>Alopecurus geniculatus</i> Linnaeus	スズメノテツボウ	Th
625.	<i>Arthraxon hispidus</i> Makino	シロコブナグサ	Th
626.	<i>A. hispidus</i> Makino var. <i>brevisetus</i> Hara	コブナグサ	Th
627.	<i>Arundinella hirta</i> Tanaka var. <i>ciliata</i> Koidzumi	トグシバ	H
628.	<i>Brachypodium miserum</i> Koidzumi	ヤマカモジグサ	H
629.	<i>Calamagrostis arundinacea</i> Roth		
	var. <i>brachytricha</i> Hackel	サイトウガヤ	H
630.	<i>Cleistogenes Hackeli</i> Honda	チヨウセンガリヤス	H
631.	<i>Diarrhena japonica</i> Franchet et Savatier	タツノヒゲ	H
632.	<i>Digitaria Isckaemum</i> Muehlenberg	アキメイジハ	Th
633.	<i>D. sanguinalis</i> Scopoli var. <i>ciliaris</i> Doell	メイジハ	Th
634.	<i>Eccoilopus cotulifer</i> A. Camus	アブラススキ	H
635.	<i>Echinochloa crusgall</i> Beauvois		
	subsp. <i>submutica</i> Honda	ノビエ	Th
636.	<i>Eragrostis ferruginea</i> Beauvois	カゼクサ	H
637.	<i>E. multicaulis</i> Steudel	ニワホコリ	Th
638.	<i>Festuca Myuros</i> Linnaeus	ナギナタガヤ	Th
639.	<i>F. parvigluma</i> Steudel	トボンガラ	Th
640.	<i>Glyceria leptolepis</i> Ohwi	ヒロハノドジョウツナギ	HH
641.	<i>G. tonglensis</i> Clarke var. <i>honshuana</i> L. Kelso	ドジョウツナギ	HH
642.	<i>Hemarthria japonica</i> Roshevitz	ウシノツツペイ	H
643.	<i>Hystrix longearistata</i> Honda	アヅマガヤ	H
644.	<i>Imperata cylindrica</i> Beauvois var. <i>Koenigii</i>		
	Durand et Schinz	チガヤ	G
645.	<i>Leersia Sayanuka</i> Ohwi	サヤヌカグサ	HH
646.	<i>Microstegium nudum</i> A. Camus	ササガヤ	H
647.	<i>M. vimineum</i> A. Camus var. <i>imberbe</i> Honda	アンボソ	Th
648.	<i>Milium effusum</i> Linnaeus	イブキヌカボ	H
649.	<i>Miscanthus sinensis</i> Anderson	ススキ	H
650.	<i>Muehlenbergia japonica</i> Steudel	ネズミガヤ	H
651.	<i>M. ramosa</i> Makino	キダチノネズミガヤ	H
652.	<i>Oplismenus japonicus</i> Honda	コチデミザサ	H
653.	<i>O. undulatifolius</i> Foermer et Schultes	チデミザサ	H
654.	<i>Panicum pacificum</i> Tuyama	ヌカキビ	Th

655.	<i>Paspalum Thunbergii</i> Kunth	ススメノヒエ	H
656.	<i>Pennisetum alopecuroides</i> Sprengel	チカラシバ	H
657.	<i>Phalaris arundinacea</i> Linnaeus	クサヨシ	H
658.	<i>Phragmites longivalvis</i> Steudel	ヨシ	HH
659.	<i>Poa acroleuca</i> Steudel	ミゾイチゴツナギ	Th
660.	<i>P. acroleuca</i> Steudel var. <i>spiciformis</i> Honda	ヤマミゾイチゴツナギ	Th
661.	<i>P. acroleuca</i> Steudel var. <i>submoniliformis</i> Makino	タマイチゴツナギ	Th
662.	<i>P. annua</i> Linnaeus	スズメノカタビラ	Th
663.	<i>P. sphondylodes</i> Trinius var. <i>strictula</i> Koidzumi	ザラツキイチゴツナギ	H
664.	<i>Sacciolepis indica</i> Chase	ハイスメリ	Th
665.	<i>Setaria autumnalis</i> Ohwi	アキノエノコログサ	Th
666.	<i>S. lutescens</i> Hubbard	キンエノコロ	Th
667.	<i>S. viridis</i> Beauvois	エノコログサ	Th
668.	<i>Sporoborus elongatus</i> R. Brown	ネズミノオ	H
669.	<i>Themeda japonica</i> Tanaka	メガルカヤ	H
670.	<i>Trisetum bifidum</i> Ohwi	カニツリグサ	H
671.	<i>Zoysia japonica</i> Steudel	シバ	H
	110. Cyperaceae カヤツリグサ科		
672.	<i>Carex albata</i> Bott	ミノボロスゲ	H
673.	<i>C. aphanolepis</i> Franchet et Savatier	エナシヒゴクサ	H
674.	<i>C. brunnea</i> Thunberg	オオイトスゲ	H
675.	<i>C. confertiflora</i> Boot	ミヤマシラスゲ	H
676.	<i>C. curuicollis</i> Franchet et Savatier	ナルコスゲ	H
677.	<i>C. dissitiflora</i> Franchet	ミヤマジユズスゲ	H
678.	<i>C. forficula</i> Franchet et Savatier	タニガワスゲ	H
679.	<i>C. gibba</i> Wahlenberg	マスクサ	H
680.	<i>C. Idzuroi</i> Franchet et Savatier	ウマスゲ	H
681.	<i>C. incisa</i> Boott	カワラスゲ	H
682.	<i>C. ischnostachya</i> Steudel	ジユズスゲ	H
683.	<i>C. japonica</i> Thunberg	ヒゴクサ	H
684.	<i>C. kiotensis</i> Franchet et Savatier	テキリスゲ	H
685.	<i>C. leucochlora</i> Bunge	アオスゲ	H
686.	<i>C. macroglossa</i> Franchet et Savatier	コジユズスゲ	H
687.	<i>C. Maximowiczii</i> Miquel	ゴウソ	H
688.	<i>C. mollicula</i> Boott	ヒメシラスゲ	H
689.	<i>C. Morrowii</i> Boott var. <i>temnolepis</i> Ohwi et Araki	ホソバカンスゲ	H
690.	<i>C. multifolia</i> Ohwi	ミヤマカンスゲ	H
691.	<i>C. otaruensis</i> Franchet	オタルスゲ	H
692.	<i>C. oxyandra</i> Kudo	ヒメスゲ	H
693.	<i>C. Reinii</i> Franchet et Savatier	コカンスゲ	H
694.	<i>C. rhizopoda</i> Maximowicz	シラコスゲ	H
695.	<i>C. siderosticta</i> Hance	タガネソウ	H

696.	<i>C. Thunbergii</i> Steudel	アゼスゲ	H
697.	<i>C. amuricus</i> Maximowicz var. <i>laxa</i> Nakai	チャガヤツリ	Th
698.	<i>C. microiria</i> Steudel	カヤツリグサ	Th
699.	<i>C. orthostachyus</i> Franchet et Savatier var. <i>robustus</i> Hara	ウシクグ	Th
700.	<i>Fimbristylis complanata</i> Link var. <i>microcarpa</i> C. B. Clarke	ヒメヒラテンツキ	Th
701.	<i>F. miliacea</i> Vahl	ヒデリコ	Th
702.	<i>Kyllingia brevifolia</i> Rottboell var. <i>leiolepis</i> Hara	ヒメクグ	H
703.	<i>Pycneus sanguinolentus</i> Nees	カワラスガナ	Th
704.	<i>Scirpus Wichurai</i> Boeckeler	アイバソウ	HH
	111. Araceae サトイモ科		
705.	<i>Acorus asiaticus</i> Nakai	ショウブ	HH
706.	<i>A. gramineus</i> Solander	セキショウ	HH
707.	<i>Arisaema amplissimum</i> Blume	オオマムシグサ	G
708.	<i>A. angustatum</i> Franchet et Savatier	ホソバテンナンショウ	G
709.	<i>A. serratum</i> Schott var. <i>iono-chlamys</i> Nakai	ムラサキマムシグサ	G
710.	<i>A. serratum</i> Schott var. <i>viridescens</i> Nakai	カントウマムシソウ	G
711.	<i>A. Urashima</i> Hara	ウラシマソウ	G
712.	<i>Pinellia ternata</i> Breitenbach var. <i>viridis</i> Makino	カラスビシヤク	G
	112. Commelinaceae ツユクサ科		
713.	<i>Aneilema Keisak</i> Hasskarl	イボクサ	Th
714.	<i>Commelina communis</i> Linnaeus	ツユクサ	Th
	113. Uncaceae イグサ科		
715.	<i>Uncus decipiens</i> Nakai	イ	HH
716.	<i>J. bufonius</i> Linnaeus	ヒメコウガイゼキショウ	HH
717.	<i>J. Leschenaultii</i> Gay	コウガイゼキショウ	HH
718.	<i>J. nikkoensis</i> Satake	ニツコウコウガイゼキショウ	HH
719.	<i>J. tenuis</i> Willdenow	クサイ	H
720.	<i>Luzula multiflora</i> Lejeune	ヤマズメノヒエ	H
721.	<i>L. plumosa</i> Meyer	ヌカボシソウ	H
	114. Liliaceae ユリ科		
722.	<i>Allium nipponicum</i> Franchet et Savatier	ノビル	G
723.	<i>A. Thunbergii</i> Don	ヤマラツキヨウ	G
724.	<i>Asparagus schoberioides</i> Kunth	キジカクシ	G
725.	<i>Cardiocrinus cordatum</i> Makino	ウバユリ	G
726.	<i>Disporum sessile</i> D. Don	ホウチャクソウ	G
727.	<i>D. sessile</i> D. Don var. <i>stenophylla</i> Franchet et Savatier	ホソバホウチャクソウ	G
728.	<i>D. smilacinum</i> A. Gray	チゴユリ	G
729.	<i>Hemerocallis disticha</i> Donn var. <i>kwanso</i> Nakai	ヤブカンゾウ	H
730.	<i>Hosta longipes</i> Matsumura	イワギボウシ	G

731.	<i>H. longissima</i> Honda var. <i>brevifolia</i> F. Maekawa	ミヅギボウシ	G
732.	<i>H. Sieboldiana</i> Engler	トウギボウシ	G
733.	<i>Lilium auratum</i> Lindley	ヤマユリ	G
734.	<i>L. pseudotigrinum</i> Carriere	コオニユリ	G
735.	<i>Liriope muscari</i> Bailey var. <i>communis</i> Nakai	ヤブラン	H
736.	<i>Opliopogon japonicus</i> Ker-Gawler	リュウノヒゲ	H
737.	<i>Paris tetraphylla</i> A. Gray	ツクバネソウ	G
738.	<i>Polygonatum falcatum</i> A. Gray	ナルコユリ	G
739.	<i>P. japonicum</i> Morren et Decaisne	アマドコロ	G
740.	<i>P. silvicolum</i> Makino	ヤマナルコユリ	G
741.	<i>P. lasianthum</i> Maximowicz	ミヤマナルコユリ	G
742.	<i>Scilla scilloides</i> Druch	ツルボ	G
743.	<i>Smilax China</i> Linnaeus	サルトリイバラ	M
744.	<i>S. nipponica</i> Miquel	シオヂ	G
745.	<i>S. Sieboldi</i> Miquel	ヤマガシユウ	M
746.	<i>Tricyrtis iaponica</i> Miquel	ヤマヂノホトトギス	G
747.	<i>T. maropoda</i> Miquel	ヤマホトトギス	G
748.	<i>Trillium Tschonoskii</i> Maximowicz	シロバナエンレイソウ	G
	115. Amaryllidaceae ヒガンバナ科		
749.	<i>Lycoris radiata</i> Herbert	ヒガンバナ	G
	116. Dioscoreaceae ヤマノイモ科		
750.	<i>Dioscorea bulbifera</i> Linnaeus form. <i>spontanea</i> Makino et Nemoto	ニガガシユウ	G
751.	<i>D. graciliima</i> Miquel	タチドコロ	G
752.	<i>D. japonica</i> Thunberg	ヤマノイモ	G
753.	<i>D. tenuipes</i> Franchet et Savatier	ヒメドコロ	G
754.	<i>D. Tokoro</i> Makino	オニドコロ	G
	117. Iridaceae アヤメ科		
755.	<i>Iris ensata</i> Thunberg var. <i>spontanea</i> Nakai	ノハナシヨウブ	H
756.	<i>I. japonica</i> Thunberg	シヤガ	H
757.	<i>I. Nertchinskia</i> Loddiges	アヤメ	H
	118. Zingiberaceae ショウガ科		
758.	<i>Zingiber Mioga</i> Roscoe	ミヨウガ	G
	119. Orchidaceae ラン科		
759.	<i>Calanthe discolor</i> Lindley	エビネ	H
760.	<i>Cephalanthera erecta</i> Blume	ギンラン	G
761.	<i>C. falcata</i> Lindley	キンラン	G
762.	<i>C. longibracteata</i> Blume	ササバギンラン	G
763.	<i>Cymbidium virescens</i> Lindley	シユンラン	H
764.	<i>Liparis Kumokiri</i> F. Maekawa	クモキリソウ	G
765.	<i>Platanthera mandarinorum</i> Reichenback, f.	ヤマサギソウ	G
766.	<i>P. minor</i> Reichenback, f.	オオバノトンボソウ	G

5 Résumé

Along the shore line of the sea referred to in the subject of this paper, there are situated two National Forests, one of them a strand wood-land touching the shore line and the other a forest of the inland hill region. The strand wood-land is in Ibaraki Prefecture, and the inland forest in Fukushima Prefecture.

For these two forests, survey of plants had been performed during the last few years since 1947. The content of this report is composed of two parts, the one being the plant list, essentially completed by author Hayashi, and the other some notes, described essentially by author Kawada, relating to the plant life.

A. The principal articles are as follows:

(1) The name and area of each forest:

Concerning the one in Ibaraki Prefecture, i. e. the strand wood-land: Name "Muramatsu", area: 315 hectares.

Concerning the one in Fukushima Prefecture, i. e. the inland forest: Name: "Megane", area: 439 hectares. The situation of each is shown in the map of Fig. 1.

(2) Outline of the regions of forest formation-groups in Japan.

Author (Kawada, M.) divided the whole land of Japan into 10 regions of forest formation-group as follows:

I. Region of forest formation-group mainly composed of sub-tropical oceanic vegetations.

II. Region of forest formation-group mainly composed of sclerophyllous evergreen broad-leaved trees.

III. Region of forest formation-group mainly composed of evergreen broad-leaved trees occasionally associated with coniferous trees of "Podocarpaceae".

IV. Region of forest formation-group mainly composed of evergreen broad-leaved trees associated with coniferous trees.

V. Region of forest formation-group mainly composed of evergreen and deciduous broad-leaved trees occasionally associated with coniferous trees.

VI. Region of forest formation-group mainly composed of deciduous broad-leaved trees occasionally associated with coniferous trees.

VII. Region of forest formation-group mainly composed of high mountain coniferous trees associated with some deciduous broad-leaved trees.

VIII. Region of forest formation-group mainly composed of northern coniferous trees associated with some deciduous broad-leaved trees.

IX. Region of forest formation-group mainly composed of strand forests.

X. Region of upper limit of woodland-vegetation mainly composed of prostrating coniferous and broad-leaved trees associated with various kinds of heather-like plants.

Among these 10 forest formation-groups, author recognize some of them are

holding some types of forest vegetation in themselves, for instance, groups VI, VII, VIII, as follows:

(a) Concerning Group VI :

In this group there should be many types, from viewpoint of physiognomy, but there are a few author can definitely recognize, e. g.:

Type I. Normal type, which is associated with no coniferous trees.

Type II. Chamaecyparis type, namely among coniferous trees Chamaecyparis remarkably predominate.

Type III. Abies type.

Type IV. Cryptomeria type.

Type V. Thujopsis type.

Type VI. Northern Abies ("Todomatsu") type.

(b) Concerning Group VII :

Author recognizes two types in this group. they are:

Type I. West-southern type mainly associated with *Abies homolepis*, *A. Veitchii*, *A. Mariesii*, *Picea jezoensis* var. *hondoensis*, *Tsuga diversifolia* and *Larix Kaempferi*, amongst these the *Larix* is very characteristic.

Type II. Northern type mainly associated with *Abies Mariesii* sometimes mixed with very few of *Tsuga diversifolia*, and it is very characteristics that this type holds no *Picea* and no *Larix*.

(c) Concerning Group VIII :

Author divides this group as follows:

Type I. Japanese black pine type.

Sub-Type A. pure stand of black pine.

Sub-Type B. holds sometimes very few of red pine.

Type II. Mixed stand composed of black and red pine.

Sub-Type A. normal mixed stand.

Sub-Type B. mixed in small groups, usually this sub-type appears in the north.

Type III. Japanese red pine type.

Type IV. Northern black pine type, essentially composed of planted ones, but sometimes established from the descendants of planted ones, in very rare cases composed of natural growth.

Notes: Japanese black pine is *Pinus Thunbergii*, and Japanese red pine is *P. densiflora*.

The actual distribution of these 10 regions above-mentioned is illustrated conceptionally in the map of Fig. 1.

Notes: (a) The Region 1 does not appear in this map, because so far as the area included in this map is concerned there is no island to be covered with the vegetation of sub-tropical oceanic.

(b) The vegetations belonging to Region 2 usually appear on the rock cliffs which mark the end of vegetation of Region 3, therefore, although the existence of this region is very clear, it cannot be illustrated because the areas covered with this vegetation are too small for this scale of map.

(c) The Region 9 should have a huge length of vegetation in view of the total length of shore line of Japan, but, everywhere, the width of this vegetation is too narrow to be drawn in this map.

The National Forest “Muramatsu” is situated very close the shoreline, and the vegetation belongs to Region 9, Type II, sub-type A, thus, the situation of the forest seems to be in the Region 5 on the map. The National Forest “Megane” is situated on the boundary line between Region 5 and Region 6, but mainly in Region 6, Type III. Abies type.

(3) Special notes about the two forests:

In “Muramatsu” there is set an experimental area on the sand-dune reclamation, and in “Megane” some experimental plots on the thinning of “Sugi” (*Cryptomeria*) stand. Both of them are very well known among the foresters in Japan.

(4) The biological spectrums of Raunkiaer:

From the name-list of plants growing in the two forests two biological spectrums are obtained which are shown in Table 1. (See Fig. 2, a, b)

(5) Several discussions concerning the spectrums.

Hayek, A. points out (S. 101, Allgemeine Pflanzengeographie, Berlin, 1926) that following spectrums are the types in each particular climate respectively as shown in Table 2. From 6 spectrums shown in Table 1, and Table 2. author deduced 6 series of number following values of percentage of life-form. (See Computation 1., 2., and Table 3.) Then, author to the 6 series of number applied a statistical method i. e. “Rank Method”. The rank-correlation coefficients (ρ) obtained are as follows: (See Computation 1, 2 and 3, a, b, c)

$$\begin{aligned} \rho(\text{No. 5, No. 6}) &= \rho(\text{Muramatsu, Megane}) = 0.96 \text{ K} \\ \rho(\text{No. 1, No. 2}) &= \rho(\text{Normal, Tropical rainy}) = 0.98 \text{ A} \\ \rho(\text{No. 1, No. 5}) &= \rho(\text{Normal, Muramatsu}) = 0.80 \text{ B} \\ \rho(\text{No. 1, No. 6}) &= \rho(\text{Normal, Megane}) = 0.68 \text{ C} \\ \rho(\text{No. 2, No. 5}) &= \rho(\text{Tropical rainy, Muramatsu}) = 0.81 \text{ D} \\ \rho(\text{No. 2, No. 6}) &= \rho(\text{Tropical rainy, Megane}) = 0.70 \text{ E} \\ \rho(\text{No. 3, No. 5}) &= \rho(\text{Dry desert, Muramatsu}) = 0.68 \text{ F} \\ \rho(\text{No. 3, No. 6}) &= \rho(\text{Dry desert, Megane}) = 0.72 \text{ G} \\ \rho(\text{No. 4, No. 5}) &= \rho(\text{Arctic, Muramatsu}) = 0.48 \text{ H} \\ \rho(\text{No. 4, No. 6}) &= \rho(\text{Arctic, Megane}) = 0.52 \text{ I} \end{aligned}$$

The results obtained are as follows:

The climates of Muramatsu and of Megane are very similar. (K)

The climates of Normal and of Tropical rainy are very similar, better to say almost the same. (A)

The climate of Muramatsu is closer to the climate of Normal than that of Megane, and at the same time, same relation holds between Tropical rainy and Muramatsu as well as Megane. (B, C, D, E) This conclusion is to be accepted from the fact that Muramatsu is situated in the region of evergreen broad-leaved trees while Megane in the region of deciduous broad-leaved trees.

The climate of Megane is closer to the climate of dry desert than that of Muramatsu. (F, G). At the same time, the same relation can be recognized between the climate of arctic and of Megane as well as Muramatsu. This conclusion is also acceptable from the same reason of situation relating vegetation as above pointed out. (H, I) Compared with the values ρ of D, E, F, G, H, and I, it shall be concluded as acceptable, that the climates of Muramatsu and of Megane are rather more similar to the climate of tropical rainy than that of dry desert and of arctic, except the case H. This conclusion is reasonable in view of the situation of the two forest relating to vegetation. (See Fig. 1).

(6) The peculiarity of climate of this district and the characteristic plants.

The sea, a part of western Pacific Ocean, so-called "Kashimanada", is very famous place physiographically where the warm current "Kuroshio" and the cold current "Oyashio" meet, the former from the south and the latter from the north, clashing and hitting vigorously each other. Influenced by this fact the climate of this district is marked with various peculiarities such as very dense mist so-called "Gas", very quick change of temperature and weather, and also very wide range of temperature especially in the season from early spring to mid-summer.

Caused by this climate the vegetations of this district are very complicated from viewpoint of floristic composition. Among the numerous species several plants can be recognized clearly as coming from the far south, other species from the far north.

The species found in Natinal Forest "Muramatsu", the strand woodland, which seem to belong to relatively southern home land:

Japanese name	(Latin name)
Hirohabenishida	(<i>Dryopteris erythrosora</i> var. <i>ambigens</i>)
Sudajii	(<i>Shiia Sieboldi</i>)
Tokiwaakebi	(<i>Stauntonia hexaphylla</i>)
Nanten	(<i>Nandina domestica</i>)
Binankadsura	(<i>Kadsura japonica</i>)
Himeyudhuriha	(<i>Daphiphyllum glaucescens</i>)
Mochinoki	(<i>Ilex integra</i>)
Mokukoku	(<i>Ternstroemia japonica</i>)
Ohbagumi	(<i>Elaeagnus macrophylla</i>)
Iyokadsura	(<i>Cynanchum japonicum</i>)
Hamaguruma	(<i>Wedelia prostrata</i>)
Hatagaya	(<i>Bulbostylis barbata</i>)
Hamasuge	(<i>Cyperus rotundus</i>)
Birohdotentsuki	(<i>Fimbristylis sericea</i>)
Ibokusa	(<i>Aneilema Keisak</i>)
Hiohgi	(<i>Belamcanada chinensis</i>)
Benikayaran	(<i>Gastrochilus matsuran</i>)

Yohrakuran (*Oberonia japonica* var. *aurantiaca*)

Kayaran (*Sarcochilus japonicus*)

Plants which seem to belong to relatively northern home land:

Okahijiki (*Salsora Komarovi*)

Hamahatazao (*Arabis japonica* var. *stenocarpa*)

Hamanasu (*Rosa rugosa*)

Ohumegasasoh (*Chimaphylla umbelata*)

Unran (*Linaria japonica*)

Yamahahako (*Anaphalis margaritacea*)

Shiroyomogi (*Artemisia Stelleriana*)

Yanagitanpopo (*Hieracium umbellatum*)

Ohnigana (*Ixeris dentata* var. *amplifolia*)

Hamannniku (*Elymus mollis*)

Kurokawazusuge (*Carex arenicola*)

Sukashiyuri (*Lilium maculatum* var. *elegans*)

Himeizui (*Polygonatum humile*)

The species, appearing in National Forest "Megane", forest of hill region, seem to belong relatively southern home land:

Kohyakokeshinobu (*Hymenophyllum barbatum*)

Yawarashida (*Dryopteris laxa*)

Ohbenishida (*D. rhomboideo-ovata*)

Mamezuta (*Lemmaphyllum microphyllum*)

Tachishinobu (*Onychium japonicum*)

Ohitachishida (*Polystichum Bissetianum*)

Komochishida (*Woodwardia orientalis*)

Kanikusa (*Lygodium japonicum*)

Shirakashi (*Cyclobalanopsis myrcinaefolia*)

Sudajii (*Shiia Sieboldi*)

Itabikazura (*Ficus foveolata*)

Shirodamo (*Neolitsea latifolia*)

Yuriwasabi (*Eutrema bracteata*)

Inuzakura (*Prunus Buergeriana*)

Jaketsuibara (*Caesalpinia japonica*)

Yabutsubaki (*Camellia japonica* var. *spontanea*)

Enoshimakibushi (*Stachyurus ovalifolius*)

Teikakazura (*Trachelospermum asiaticum* var. *intermedium*)

Natsunotamuraso (*Salvia japonica* var. *typica*)

Momijitamabuki (*Cacalia lobatifolia*)

Plants which seem to belong to relatively northern home land:

Kohraimeshida (*Asplenium rubripes*)

Oshida (*Dryopteris crassirhizoma*)

Miyamabenishida (*D. monticola*)

Ohyohnire (*Ulmus laciniata*)
Michinokusaishin (*Heterotropa Fauriei*)
Hirohanokiwada (*Phellodendron sachalinense*)
Kokuwazuru (*Actinidia platyphylla*)
Amanyu (*Angelica edulis*)
Jinyohichiyaku (*Pyrola renifolia*)
Renpukusoh (*Adoxa Moschatellina*)
Nopporogankubiso (*Carpesium Koidzumii* var. *Matsuei*)
Ohnigana (*Ixeris dentata* var. *amplifolia*)
Oyarihaguma (*Macrocladum trilobum*)
Sendaitohhiren (*Saussurea nikoensis*)
Hirohadojohtsunagi (*S. nipponica* subsp. *sendaica*)

B. Name list of plants growing in the two National Forests.

(1) The wild plants appearing in Muramatsu National Forest and surrounding woodlands can be classified into 112 families, 561 species, and those found in Megane National Forest located in hilly region, 119 families, 766 species.

(2) Of the plants growing in the two National Forests, from the “floristic plant geographical” point of view, the followings are of great interest: *Betula platyphylla* Sukatchev. var. *japonica* Hara, *Morus bombycis* Koidzumi var. *maritima* Koidzumi, *Stauntonia hexaphylla* Decaisne, *Dontostemon dentatus* Ledebour, *Rosa rugosa* Thunberg, *Daphniphyllum glaucescens* Blume, *Ternstroemia Mokof* Nakai, *Chimaphila umbellata* W. Barton, *Artemisia Stelleriana* Besser, *Wedelia prostrata* Hemsley, *Lilium maculatum* Lindley var. *elegans* Koidzumi, *Polygonatum humile* Fischer, *Epipactis Sayekiana* Makino, *Gastrochilus matsuran* Schlechter, *Oberonia japonica* Makino var. *aurantiaca* Makino, *Usnea japonica* Wain.,—(Above listed 16 species are found in Muramatsu National Forest.)

Athyrium rubripes Komarov, *Onychium japonicum* Kuntze, *Heterotropa Fauriei* F. Maekawa, *Stachyurus ovalifolius* Nakai, *Ajuga yesoensis* Maxim. var. *tsukubana* Nakai, *Cacalia farfaraefolia* Sieb. et Zucc. var. *acerina* Kitamura, *Carpesium Matsuei* Tatewaki et Kitamura, *Macrocladum trilobum* Makino, *Saussurea nipponica* Miq. subsp. *sendaica* Kitamura, *Carex otaruensis* Franch, *Juncus nikkoensis* Satake,—(Above listed 11 species are found in Megane National Forest.)